

# 令和5年度事業報告

## I 事業報告の概要

新型コロナウイルスが感染症法上の位置づけで5類に移行し、日常生活や社会経済活動が緩やかに回復している中、少子高齢化が進み、地域では孤独死や社会的孤立、引きこもり、8050問題、DV、高齢者や障害者、児童への虐待、貧困など、福祉の課題は複雑化しており、支援には高い専門性が求められるケースが増加している。

こうした状況のもと、本会では「誰もが安心して明るく楽しく暮らしていけるまちづくり」を基本理念とした「第三次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画」に基づき、行政をはじめ、地域住民や関係機関との緊密な連携を図りながら、地域における福祉課題解決のために様々な事業に取り組んだ。

また、中期経営計画となる「第二次防府市社会福祉協議会発展・強化計画」に基づき、法人運営、地域福祉、生活支援の各部門により各種事業に取り組んだ。

令和5年度は、次の5つの重点項目を基盤に据え諸事業を以下のとおり展開した。

## II 重点項目

### 1 第三次防府市地域福祉活動計画の推進

「ひとづくり」・「環境づくり」・「しくみづくり」の着実な推進

第三次地域福祉活動計画については、地域福祉推進のための取り組みとして、5年間の実施目標計画の内、単年度目標に基づき事業を遂行した。

なお、外部委員で構成する防府市地域福祉推進協議会が行う実施目標の達成度評価により、事業の進捗状況等の確認を行った。

### 2 第二次防府市社会福祉協議会発展・強化計画の推進

法人運営部門・地域福祉部門・生活支援部門の着実な推進

第二次発展・強化計画については、地域福祉を推進する中核的な団体として、本会の使命や、経営理念、基本方針を明確にした上で、さらなる組織体制の強化や継続的に発展するための取組として、5年間の実施目標計画の内、単年度目標に基づき事業を遂行した。

なお、目標達成については、自己評価に基づき、理事会・評議員会で報告した。

### 3 小地域福祉活動事業の展開強化

地区社会福祉協議会の支援、小地域福祉活動の強化

地区社会福祉協議会の支援については、地区社会福祉協議会会長会議を5回開催して、理事会の報告や情報交換、敬老会事業の協議等を行った。

また、小地域福祉活動については、学校やNPO、ボランティアや民生委員児童委員等と連携し、ふれあい・いきいきサロンの再開に向けての支援や外国語を話す小学1年生の通学支援など様々な支援を実施した。また、幸せます防府市こども食堂ネットワーク協議会の事務局として、子ども食堂の活動のプラットフォームとなれるよう体制づくりを行った。

#### 4 地域における総合相談・生活支援体制の強化、確立

##### 防府市自立相談支援センターの機能充実、防府市成年後見センターの運営

自立相談支援センターについては、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金終了者等に対して、訪問・電話による現況確認を実施した。また、高齢者の貧困、病気による収入の減少、8050問題に伴うひきこもり等の相談を受け、様々な支援を模索しながら、就労支援や食糧支援を行った。

成年後見制度利用促進事業については、防府市成年後見センター（中核機関）の設置について、関係機関・団体に周知を行うとともに、個人向け「成年後見利用促進セミナー」の開催など、広報・啓発に努めた結果、具体的な手続方法や制度の詳しい内容の説明を希望される方は来所されるケースが多く見られた。

#### 5 経営管理（ガバナンス）の強化と経営の透明性の確保

##### 事務所移転プロジェクト、組織体制の整備、人事管理の適正化

新事務所の面積が現在より縮小されることから、保存文書の整理や不要物品の譲渡など、移転に向けた準備を進めた。

組織のガバナンス強化を図るため、理事会及び評議員会を開催して事業計画、事業報告及び諸規程等の改正を審議するとともに重要事項を報告し、評議員選任・解任委員会においては、後任の評議員を選任した。

人事管理の適正化については、職位や職務に応じた知識、技術等の習得など資質向上を図るため、職員研修体制の充実や人材育成に努めた。

### Ⅲ 具体的事業

#### 【法人運営部門】

#### 1 法人運営事業

109,468,724 円

防府市社会福祉協議会を円滑に運営していくために、次の事業を実施した。

##### (1) 第二次防府市社会福祉協議会発展・強化計画の推進

事業報告	評 価
<p>第二次計画での法人経営部門については、中間年度にあたり組織体制の整備、財務状況の適正化及び人事管理の適正化に取り組んだ。地域福祉部門については、地区社会福祉協議会の強化、地域福祉力の強化及び地域ニーズに即した事業の開発に取り組んだ。生活支援部門については、生活支援活動の強化及び総合的な権利擁護体制の構築に取り組んだ。</p>	<p>第二次市社協発展・強化計画を単年度事業計画に具体的に反映させ、着実な実施と進行管理に努めた。</p>

##### (2) 法人運営事業

##### 新① 新事務所移転プロジェクト

事業報告	評 価
<p>令和6年度の事務所移転に向け、事務所備品及び書類の整理、処分品について公共施設や社会福祉法人等への譲渡を行った。 スムーズな移転が出来るよう、計画的に準備を進めた。</p>	<p>新事務所の面積が現在より縮小されることから、必要最小限に必要となる物を精査した。</p>

##### ② 組織体制の整備

##### ア 会員の増強

事業報告			評 価											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>会員別</th> <th>対象数</th> <th>会費総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般会員</td> <td>全世帯</td> <td>12,610,800円 【12,648,900円】</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">団体会員</td> <td>地区社協</td> <td>15団体 【15団体】</td> </tr> <tr> <td>福祉団体</td> <td>27団体 【27団体】</td> </tr> <tr> <td>施設団体</td> <td>25団体 【25団体】</td> </tr> </tbody> </table>	会員別	対象数	会費総額	一般会員	全世帯	12,610,800円 【12,648,900円】	団体会員	地区社協	15団体 【15団体】	福祉団体	27団体 【27団体】	施設団体	25団体 【25団体】	<p>会費は合計では対前年度比で29,400円増加した。一般会費は前年度比で38,100円減少したが、特別会費は67,500円増加した。</p>
会員別	対象数	会費総額												
一般会員	全世帯	12,610,800円 【12,648,900円】												
団体会員	地区社協	15団体 【15団体】												
	福祉団体	27団体 【27団体】												
	施設団体	25団体 【25団体】												

	連合団体	6団体 【6団体】	30,000円 【30,000円】	
	特別会員	5,494口 【5,359口】	2,747,000円 【2,679,500円】	
	賛助会員	16口 【16口】	80,000円 【80,000円】	
	合 計		15,641,800円 【15,612,400円】	

〔年額会費〕

一般会員 1世帯 300円

団体会員

地区社協 1団体 3,000円

福祉団体 1団体 2,000円

施設団体 1団体 3,000円

連合団体 1団体 5,000円

特別会員 1口 500円

賛助会員 1口 5,000円

イ 評議員会及び役員会等の開催

事業報告	評 価
<p>㊦ 三役会の開催</p> <p>13回開催して、事業や予算の執行状況等について協議した。</p>	<p>定期的に三役会を開催した。</p>
<p>㊧ 理事会の開催</p> <p>令和5年 6月 6日</p> <p>報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について</p> <p>議案第1号 令和4年度事業報告について</p> <p>議案第2号 令和4年度資金収支決算について</p> <p>監査報告</p> <p>議案第3号 令和5年度資金収支補正予算（第1回）について</p> <p>議案第4号 理事候補者の提案について</p> <p>議案第5号 監事候補者の提案について</p> <p>議案第6号 評議員候補者の提案について</p> <p>議案第7号 定時評議員会の招集について</p> <p>議案第8号 評議員選任・解任委員会の招集について</p> <p>令和5年 6月22日</p>	<p>理事及び監事の任期満了に伴い役員改選があった。理事会は4回開催し、全議案の承認を得た。</p>

- 議案第 9 号 会長の選定について
- 議案第 10 号 副会長の選定について
- 議案第 11 号 常務理事の選定について
- 議案第 12 号 評議員選任・解任委員の選任について
- 議案第 13 号 「役員等損害賠償責任保険」契約の締結について

令和 5 年 1 0 月 2 6 日

- 報告第 2 号 会長及び常務理事の職務執行状況について
- 報告第 3 号 令和 5 年度事業実施状況及び予算執行状況について
- 報告第 4 号 令和 5 年度資金収支流用予算（第 1 回）について
- 議案第 14 号 令和 5 年度資金収支補正予算（第 2 回）について
- 議案第 15 号 職員の育児・介護休業等に関する規則中改正について
- 議案第 16 号 評議員候補者の提案について
- 議案第 17 号 評議員選任・解任委員会の招集について
- 議案第 18 号 評議員会の招集について

令和 6 年 3 月 1 8 日

- 報告第 5 号 会長及び常務理事の職務執行状況について
- 報告第 6 号 令和 5 年度資金収支流用予算（第 2 回）について
- 議案第 19 号 令和 5 年度資金収支補正予算（第 3 回）について
- 議案第 20 号 令和 6 年度事業計画について
- 議案第 21 号 令和 6 年度資金収支予算について
- 議案第 22 号 役員等の報酬及び費用弁償規程中改正について
- 議案第 23 号 嘱託職員就業規則中改正について
- 議案第 24 号 生活支援員就業規則中改正について
- 議案第 25 号 職員給与規程中改正について
- 議案第 26 号 嘱託職員等給与規程中改正について
- 議案第 27 号 定年退職者の継続雇用に関する規程中改正について
- 議案第 28 号 職員の非違行為に係る懲戒処分等の基準中改正について
- 議案第 29 号 電子データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について
- 議案第 30 号 理事候補者の提案について

<p>議案第 31 号 常務理事の選定について 議案第 32 号 評議員会の招集について</p> <p>㊦ 評議員会の開催</p> <p>令和 5 年 6 月 22 日 (定時評議員会)</p> <p>報告第 1 号 評議員選任・解任委員会について 議案第 1 号 令和 4 年度事業報告について 議案第 2 号 令和 4 年度資金収支決算について 監査報告 議案第 3 号 令和 5 年度資金収支補正予算 (第 1 回) について 議案第 4 号 理事の選任について 議案第 5 号 監事の選任について</p> <p>令和 5 年 11 月 16 日</p> <p>報告第 2 号 評議員選任・解任委員会について 報告第 3 号 令和 5 年度事業実施状況及び予算執行状況について 報告第 4 号 令和 5 年度資金収支流用予算 (第 1 回) について 議案第 3 号 令和 5 年度資金収支補正予算 (第 2 回) について</p> <p>令和 6 年 3 月 26 日</p> <p>報告第 5 号 令和 5 年度資金収支流用予算 (第 2 回) について 議案第 4 号 令和 5 年度資金収支補正予算 (第 3 回) について 議案第 5 号 令和 6 年度事業計画について 議案第 6 号 令和 6 年度資金収支予算について 議案第 7 号 役員等の報酬及び費用弁償規程中改正について 議案第 8 号 理事の選任について</p> <p>㊧ 監査会の開催</p> <p>令和 5 年 5 月 17 日・18 日 ・令和 4 年度業務執行状況及び財産状況の監査</p> <p>㊨ 評議員選任・解任委員会の開催</p> <p>令和 5 年 6 月 14 日 ・評議員の選任 2 名 令和 5 年 11 月 6 日</p>	<p>6 月 22 日の定時評議員会を含め 3 回開催し、全議案の承認を得た。</p> <p>また、定時評議員会において、令和 4 年度決算にかかる社会福祉充実残額について報告した。</p> <p>監査会は令和 4 年度の業務及び決算内容について監査を実施した。</p>
--	---

・評議員の選任	1名	
---------	----	--

ウ 役員等の研修

事業報告	評 価
令和5年 8月28日・29日 市町社協トップミーティング及び役員等研修会 山口市 参加人員 3名 令和5年10月 6日 市町社協事務局長会議 山口市 参加人員 1名 令和6年 2月29日 市町社協会長・常務理事・事務局長会議 Web 参加人員 3名	

エ 諸規程等の整備

事業報告	評 価
㊦ 規程の制定 ・電子データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程  ㊧ 規程等の改正 ・職員の育児・介護休業等に関する規則 ・役員等の報酬及び費用弁償規程 ・嘱託職員就業規則 ・生活支援員就業規則 ・職員給与規程 ・嘱託職員等給与規程 ・定年退職者の継続雇用に関する規程 ・職員の非違行為に係る懲戒処分等の基準	諸規程等を必要に応じて整備した。

オ 組織運営の強化

事業報告	評 価
社会福祉協議会は高い公益性が求められる社会福祉法人であることから、組織のガバナンス強化を図るため諸規程等の制定及び改正を行った。	組織のガバナンス強化を図り、事務局体制の整備や適正な人員配置等に努めた。

カ 広報啓発活動

事業報告	評 価
<p>㊦ 広報紙「社協だより防府」の発行配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発行回数 年6回で偶数月の15日</li> <li>・発行部数 各回49, 500部印刷で全戸配布</li> </ul> <p>㊧ ホームページの運用</p> <p>ホームページに事業内容及び活動報告等の情報を掲載した。サイトから問合せ受付が可能になり、市民の意見や要望が多数寄せられた。</p> <p>アクセス数 44, 826回</p> <p>㊨ マスコットキャラクターの活用</p> <p>市社協の知名度の向上及び市民の社会福祉への意識関心の喚起のため、マスコットキャラクター「ホーフウ」を社協だよりやホームページに掲載し、広報啓発活動を行った。</p>	<p>市民に対する社協の認知度を向上させるため、福祉情報を定期的に提供した。</p>

キ 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策等の推進

事業報告	評 価
<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、職場内のアクリルパーテーションを撤去し、日常における基本的な感染対策に配慮して業務を行った。また、Webを積極的に活用して感染防止対策に努めた。</p>	<p>職場における安全性の確保に努めた。</p>

ク グループウェアシステムの活用

事業報告	評 価
<p>グループウェアシステムの回覧機能やワークフロー機能を活用し、迅速かつ正確な情報共有及びペーパーレス化に取り組んだ。スケジュール機能、設備予約機能により、関係団体や職場内の設備利用調整がスムーズにできた。また、有事の際における職員の安否確認機能を活用し、防災訓練メールの配信を行った。</p>	<p>回覧機能の活用やワークフローの充実を図った。</p>



新ケ 非常時体制の強化

事業報告	評 価
<p>大規模災害等が発生した場合、通常業務においても一定の制約を受けることを想定し、継続すべき事業等の優先順位をつけるとともに、業務中断による混乱を最小限にとどめて、継続性の確保と早期機能回復を図ることを目的として事業継続計画（BCP）を策定した。</p>	<p>非常時等の万が一の際においても安定した法人運営ができるように努めた。</p>

③ 財務状況の適正化

ア 会計及び財務管理等の適正な実施

事業報告	評 価
<p>公共性の高い社会福祉法人として、透明性の確保と効果的・効率的な経営を目指すため、経理規程に則り会計処理や金銭管理について、内部牽制を機能させるとともに、顧問税理士による会計監査及び決算・申告業務を実施し、適正な処理を行った。</p>	<p>新会計基準に基づいた会計及び財務管理等の適切な管理体制に努めた。</p>

イ 新規事業等の活用

事業報告	評 価
<p>新規事業等については、山口県社会福祉協議会補助事業等の情報収集に努めたが、既存事業等に活用できるものはなかった。</p>	<p>県社協補助事業等の情報収集に努めた。</p>

ウ 効果的な事業の実施

事業報告	評 価
<p>事業を実施する上において、事業の充実や発展を図ることを目指して事業に取り組み、次年度に向けて効果的な事業展開ができるよう事業評価を意識して事業を実施した。</p>	<p>事業実施状況を把握し、効果的な事業の実施に努めた。</p>

④ 人事管理の適正化

ア 労務管理の適正化

事業報告	評 価
<p>安心して働ける職場環境づくりのために、労務関連の法律を遵守できるように調整した。 また、今年度から人事評価制度を導入して業務評価や意識姿勢評価・能力評価を行い、職員一人ひとりの能力向上を目指した。</p>	<p>職員の働きやすい環境に配慮していくため、労務管理の適正化に努めた。</p>

イ 職員の育成

事業報告	評 価
<p>⑦ 職員育成計画の策定</p> <p>法人運営においては、求める職員像として職員一人ひとりが大切な財産であり、そのためには一人ひとりの職員を育成することが重要である。職場研修、職場外研修、自己啓発により計画的に研修を受けてスキルアップ等を図り、組織力の向上につなげることを目的として職員育成計画を策定した。</p> <p>⑧ 職員の研修</p> <p>令和5年10月 6日            新任職員のためのキャリアアップ支援研修            ～コミュニケーション編～            山口市 参加人員 1名</p> <p>令和5年12月22日            令和5年度市町社協総務部課長・担当職員及び経理担当職員            研修会            山口市 参加人員 2名</p>	<p>職員の成長と併せて法人の持続的な成長、発展につながるよう努めた。</p>

ウ 職員の派遣

事業報告	評 価
<p>令和5年 7月 3日～ 4日            第12回赤い羽根全国ミーティング            ～じぶんの町を良くする会議～            東京都 参加人員 2名</p>	<p>登壇者や講師として、研修会等に参加することにより、職員のキャリアアップに努めた。</p>

⑤ 表彰等に関する事業

事業報告	評 価
<p>永年にわたり社会福祉の発展に貢献された方及び団体を推薦し、表彰を行った。</p> <p>ア 第41回防府市総合社会福祉大会            令和5年 9月 2日 三友サルビアホール（防府市公会堂）            防府市社会福祉協議会会長表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉事業一般功労者 46名</li> <li>・社会福祉事業協助団体 1団体</li> </ul>	<p>多年にわたり社会福祉事業に功績のあった方々を表彰し、敬意と感謝の意を表した。</p>

<p>イ 第73回山口県総合社会福祉大会  令和5年10月27日 下松市  山口県知事表彰  社会福祉事業功労者  ・民生委員・児童委員 3名  山口県社会福祉協議会長表彰  ・社会福祉事業功労者 17名  山口県共同募金会長表彰  ・共同募金運動奉仕者 2名  山口県民生委員児童委員協議会表彰  ・会長表彰 2名</p> <p>ウ 令和5年度全国社会福祉大会  令和5年11月15日 東京都  全社協会長表彰  ・民生委員・児童委員功労者 1名  全国民生委員児童委員連合会長表彰  ・永年勤続民生委員・児童委員 5名</p>	
---	--

⑥ 地区社協活動支援への助成

事業報告	評価
<p>特別会費を財源として地区社会福祉協議会が実施する在宅福祉強化事業（給食サービス、友愛訪問サービス、家事援助サービス等）に助成した。また、特別会費の目標口数超過の会費納入分を、地区社会福祉協議会の自主的な活動費として助成した。</p>	<p>在宅福祉サービスの充実を図るとともに、各地区に合わせた独自の活動を展開することができた。</p>

(3) 社会福祉援助技術現場実習の受入

事業報告	評価
<p>社会福祉士受験資格の取得を目指す学生の実習を受け入れた。  山口県立大学  令和5年 8月22日～ 9月21日 受入人員 3名</p>	<p>社会福祉事業者としての責務である後進の育成に努めた。</p>

(4) 福祉センター運営事業

防府市社会福祉協議会事務局のある防府福祉センターを福祉活動の拠点として、会場及び福祉用具等の貸し出しを行い、利用者の便宜を図った。

① 福祉センターの利用促進

事業報告	評 価
<p>ア 福祉センター貸館による福祉団体・ボランティア活動の場の提供 防府福祉センター利用状況（年間）</p> <p>1, 495件【1, 158件】 13, 998名【9, 050名】</p> <p>〔内訳〕</p> <p>第1相談室（1階16号室） 248件【220件】 281名【247名】</p> <p>第1教養娯楽室（2階17号室） 128件【119件】 1, 854名【1, 653名】</p> <p>第2・第3教養娯楽室（2階14号室・15号室） 0件【0件】 0名【0名】</p> <p>第2研修室（2階18号室） 140件【87件】 1, 011名【576名】</p> <p>福祉団体・ボランティア団体室（3階7号室） 341件【305件】 1, 758【1, 441名】</p> <p>第3研修室（3階8号室） 308件【180件】 2, 594名【1, 416名】</p> <p>会議室（3階9号室） 330件【247件】 6, 500名【3, 717名】</p>	<p>福祉団体・ボランティア団体等への利用促進を図った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのガイドラインの制限が緩和され、会議室等の利用件数、人数ともに増加した。</p>
<p>イ 福祉センター憩いの場（老人趣味サークル及び囲碁・将棋）の提供</p> <p>㊦ 老人趣味サークル</p> <p>庁舎移転に伴い、福祉センター貸館に期限があることを踏まえて、開催に向けて協議を行った。囲碁サークルは活動を再開したが、令和5年度末で福祉センターでの活動は終了した。</p> <p>㊧ 囲碁、将棋コーナー</p> <p>第2・第3教養娯楽室（2階14号室・15号室） 毎週月～土曜日の午後 囲碁・将棋 利用日数 0日【0日】 利用人数 0名【0名】</p>	<p>今年度は一部のサークルで活動を再開したが、福祉センターの閉館に伴い活動を終了した。</p>

② 福祉機器の貸出

事業報告	評 価
<p>車いす、松葉杖、杖及び器材貸出事業 貸出件数 539件【271件】 〔内訳〕 車いす（281件）、松葉杖・杖（32件）、高齢者擬似体験セット（3件）、アイマスク（12件）、点字器（11件）、白杖（1件）、テント大（3件）、テント小（1件）、視覚障害者用バレーボール（1件）パーテーション（55件）、パーテーション脚（100件）、玉入れセット（1件）、国旗入場（1件）、スプーンレース（1件）、スリッパ（5件）、長机（2件）、マイク（2件）、スピーカー（1件）、延長コード（1件）、赤リボン大（14件）、白リボン大（7件）、妊婦体験セット（1件）、腕章（3件）</p>	<p>車いすや松葉杖等は在宅における一時的な生活の不便を解消する一助となった。</p>

(5) 苦情解決への対応

① 苦情解決窓口及び苦情解決第三者委員の活用

事業報告	評 価
<p>福祉サービス利用者からの苦情に対して適切な解決に努めるため、苦情解決相談窓口を設置している。寄せられた苦情に対し、調査と問題解決に向けた取り組みを行った。</p>	<p>苦情解決制度について、広く周知しより良い福祉サービスの提供に努めた。</p>

2 善意銀行事業

30,000 円

地域福祉活動を推進するため、香典返し、チャリティー及びチャイルドシート等福祉用具の貸し出しに伴う御礼や善意の箱等への市民から心あたたまる寄付金等を善意銀行の財源とし、地域福祉活動推進事業やボランティア育成事業等に活用した。

(1) 善意銀行事業の強化

事業報告	評 価
<p>寄付金は予算額に対して決算額は毎年度厳しい状況にあることから、寄付金を確保するための新たな手法として口座振替及びクレジットカードによる寄付の受付を開始した。</p>	<p>安定的に寄付金が確保できるよう新たな手法を取り入れた。</p>

(2) 善意銀行事業の啓発

事業報告	評 価
<p>① 金銭寄付</p> <p>件数及び金額                    340件【                    301件】</p> <p>   3,760,778円【3,968,631円】</p> <p>〔内訳〕</p> <p>香典返し                            12件【                    3件】</p> <p>   725,000円【 320,000円】</p> <p>一般寄付                            190件【                    192件】</p> <p>   2,218,186円【2,940,667円】</p> <p>善意の箱                            138件【                    106件】</p> <p>   817,592円【 707,964円】</p> <p>② 物品寄付</p> <p>件 数 47件【58件】</p> <p>〔内訳〕</p> <p>お菓子（2件・2箱）、大人用紙おむつ（28件・81袋）、尿とりパッド（21件・157袋）、おしりふき（3件・14個）、車いす（1件・1台）、シルバーカー（3件・4台）、ポータブルトイレ（2件・2台）、ベビー用紙おむつ（1件・2袋）、三点杖（1件・1本）、杖（1件・1本）、介護シューズ（1件・1足）</p>	<p>金銭寄付は寄付件数が対前年度比で39件増加したが総額は減少した。</p> <p>物品寄付は社協だよりの「お譲りします」に掲載し、希望者に譲渡した。</p>

(3) 印刷サービスの実施

事業報告	評 価
<p>香典返しの寄付者に対し、寄付行為のお礼はがきを寄付金額に応じて印刷した。</p> <p>① 依頼件数                    4件【 1件】</p> <p>② 依頼枚数                    240枚【40枚】</p>	<p>お礼はがきの印刷は、対前年度比で3件増加した。</p>

(4) 善意の箱の設置拡充

事業報告	評 価
<p>市民が気軽に寄付できる環境をつくるとともに自主財源の確保として、現在の協力店へ引き続き協力を依頼した。</p>	<p>社協だよりに新規協力店募集記事を掲載したが、設</p>

設置総数 72か所【72か所】	置に至らず増減はなかった。
-----------------	---------------

(5) 寄付金による事業の研究

事業報告	評 価
指定寄付等による寄付金の寄付者の意向に応じた事業について、県内外の市社会福祉協議会における指定寄付等による事業の取り組みを研究した。	寄付者の意思が事業に反映されることから、取り組みについて研究した。

**【地域福祉部門】**

**1 地域福祉活動推進事業**

10,469,480 円

「福祉の輪づくり運動（困ったときにお互いが助け合える組織を地域でつくろう）」を基本とした地域福祉活動を推進するため、地域住民の参加と行政や関係団体等の協力を得て推進組織である各地区社会福祉協議会の活動支援並びに組織の充実強化に努めた。

(1) 第三次防府市地域福祉活動計画の推進

事業報告	評 価
防府市地域福祉推進協議会の開催 1回開催して、地域共生社会の実現に向けて「福祉の輪づくり運動」を展開しながら、市と市社協の協働により、計画の事業内容及び進捗状況を確認した。	計画の進捗状況を検証しながら実施した。

(2) 地区社会福祉協議会の支援

① 地区社会福祉協議会研修会の支援

事業報告	評 価
地域福祉活動計画を活用して地区社会福祉協議会活動（地区社会福祉協議会研修会）を支援した。 令和5年 4月16日 西浦地区社会福祉協議会 西浦公民館 参加人員 41名 令和5年 5月13日 右田地区社会福祉協議会 右田公民館 参加人員 71名 令和5年 5月20日 大道地区社会福祉協議会 山口短期大学 参加人員 117名	地区社協の研修内容について相談に応じ、開催を支援した。

令和5年	6月15日	富海地区社会福祉協議会		
		富海公民館	参加人員	60名
令和5年	6月18日	牟礼地区社会福祉協議会		
		牟礼公民館	参加人員	152名
令和5年	6月26日	松崎地区社会福祉協議会		
		松崎公民館	参加人員	70名
令和5年	7月6日	華城地区社会福祉協議会		
		三次市社会福祉協議会	参加人員	32名
令和5年	11月12日	華浦地区社会福祉協議会		
		山口県大島防災センター	参加人員	36名
令和5年	11月25日	小野地区社会福祉協議会		
		小野公民館	参加人員	45名
令和5年	12月9日	中関地区社会福祉協議会		
		中関公民館	参加人員	56名
令和6年	1月17日	勝間地区社会福祉協議会		
		周防大島視察	参加人員	30名
令和6年	2月2日	新田地区社会福祉協議会		
		きらめきの三笠館	参加人員	25名
令和6年	2月7日	向島地区社会福祉協議会		
		向島公民館	参加人員	40名
令和6年	2月27日	佐波地区社会福祉協議会		
		佐波公民館	参加人員	40名

② 地区社会福祉協議会会長会議等の開催

事業報告	評価
<p>防府市社会福祉協議会と地区社会福祉協議会の連携強化を図るため、定期的に地区社会福祉協議会会長会議を開催した。</p> <p>令和5年 4月26日 (第1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度事業計画・予算について</li> <li>・令和5年度地域福祉系の事業について (敬老の日の事業、ふれあい・いきいきサロン)</li> <li>・令和5年度市社協会費のお願いについて</li> <li>・令和5年度地区社協への助成金等について</li> <li>・市社協理事及び評議員候補者の推薦について</li> <li>・情報交換</li> </ul> <p>令和5年 5月23日 (第2回)</p>	<p>地区社協会会長会議を定期的に開催することで、市社協と地区社協の連携を深めることができた。</p> <p>「福祉の輪づくり運動」の取り組み等の情報提供に努めた。</p>



<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老の日の記念事業について</li> <li>・市社協評議員の推薦について</li> <li>・情報交換</li> </ul> <p>令和5年 7月13日 (第3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視察研修 山口市社会福祉協議会 ※中止</li> </ul> <p>令和5年12月20日 (第4回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度市社協理事会の報告について</li> <li>・令和5年度市社協事業について (敬老の日の事業、歳末たすけあい運動、寝具乾燥事業、ふれあい・いきいきサロンサポート研修会、地域福祉(福祉の輪づくり運動)推進セミナー、第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画)</li> <li>・情報交換 (有償ボランティア活動の状況、人材育成)</li> </ul> <p>令和6年 2月21日 (第5回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度市社協事業の報告について (歳末たすけあい運動、ふれあいネットワーク、子ども(地域)食堂、第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画)</li> <li>・令和6年度市社協会費について</li> <li>・情報交換 (地区社協と公民館の関わり)</li> </ul>	
---	--

③ 福祉員及び友愛訪問グループ員活動(友愛訪問活動促進事業)の支援

事業報告	評価
<p>地区内の福祉問題を把握して関係者への連絡や協力を促していく福祉員の活動及び在宅ひとり暮らし高齢者への見守りや訪問をする友愛訪問グループ員の活動を支援した。</p> <p>ア 福祉員 287名【288名】</p> <p>    新任福祉員研修会</p> <p>    令和5年 7月11日 防府市文化福祉会館</p> <p style="text-align: right;">参加人員 78名</p> <p>    〔内容〕</p> <p>    演題「福祉の輪づくり運動における福祉員の役割について」</p> <p>    講師 山口県社会福祉協議会 地域福祉部</p> <p>        副部長 山本貴茂 氏</p>	<p>地区社協の個別相談等とおして、組織支援につながるよう意識し、見守り活動等が継続されるよう支援を行った。</p>

イ 友愛訪問グループ員	279グループ（686名） 【290グループ（701名）】	
ウ 在宅ひとり暮らし高齢者	5,569名【6,083名】	

(3) 小地域福祉活動の強化

① 地域見守り・支え合い体制強化事業の実施

事業報告	評価
<p>ア 生活関連事業者や関係団体、住民と連携した見守り活動の仕組みづくりの支援</p> <p>在宅ひとり暮らし高齢者等が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう民間事業者及び福祉専門職等が連携した取り組みを行った。</p> <p>イ 医療・福祉との連携による見守り困難事例への体制づくりの支援</p> <p>高齢者虐待防止ネットワーク（関係団体相互の情報交換、連携協力、高齢者虐待の予防、早期発見、早期対応及び再発防止）に参加した。</p> <p>・防府市高齢者虐待ネットワーク 令和6年 1月11日 防府市文化福祉会館 参加人員 22名</p> <p>ウ 見守り活動等の担い手研修会の開催</p> <p>我が事を意識した「誰もが安心して明るく楽しく暮らしていけるまちづくり」の見守りと助け合いが、防府の福祉風土の醸成と地域活動の推進に結びつくようセミナーを開催した。</p> <p>・地域福祉(福祉の輪づくり運動)推進セミナー 令和6年 1月24日 防府市文化福祉会館 参加人員 100名（オンライン参加人員4名）</p> <p>エ 地区社協構成団体支援</p> <p>・華城地区社協定例会長部会長等会議 令和5年 5月 9日 華城公民館 参加人員 11名</p> <p>・右田地区福祉員・友愛訪問グループ員研修会 令和5年 5月13日 右田公民館 〔前半研修〕友愛訪問グループ員 参加人員 71名 〔後半研修〕福祉員 参加人員 39名</p> <p>・勝間地区福祉員・友愛訪問員辞令交付式及び研修会 令和5年 5月24日 勝間公民館 参加人員 60名</p>	<p>地域で起きている事例について共に考え、誰もが住み慣れた地域で暮らせるよう、意見を出し合う会議を開催することができた。</p> <p>地域共生社会を目指し『丸ごと』取り組めるよう、専門機関、生活関連事業所を含め広く周知した結果、企業ボランティア活動モデル推進事業所からも参加を得た。</p>

<p>・華城地区友愛訪問グループ員協議会総会 令和5年 5月28日 華城公民館 参加人員 80名</p>	
--	--

② ふれあい・いきいきサロンの設置及び活動支援

事業報告	評価
<p>ア ふれあい・いきいきサロン設置総数 130か所【127か所】</p> <p>イ 活動支援と連絡調整 地域住民グループ支援事業により「ふれあい・いきいきサロン」の活動支援と連絡調整を行った。</p> <p>ウ ふれあい・いきいきサロンへの職員訪問 39件【18件】</p> <p>エ ふれあい・いきいきサロンへの講師派遣 25件【18件】</p> <p>オ ふれあい・いきいきサロンへのグッズ貸出 34件【26件】</p> <p>カ ふれあい・いきいきサロンサポート講習会の開催 「ふれあい・いきいきサロン」を、後継者の育成をしようとしている方、現在担い手の方を対象に、地域におけるサロンの役割等を伝え、実際の開設に必要な準備の部分と、担い手のモチベーション向上に努めた。 令和6年 2月27日 防府市文化福祉会館 参加人員 78名【56名】</p> <p>[内容] 講演Ⅰ「ふれあい・いきいきサロン」を続けていくために 講師 防府市社会福祉協議会 地域福祉係 係長 上田竜資  講演Ⅱ「緊急通報装置の必要性を再度確認しましょう」 講師 防府市高齢福祉課 在宅支援係 係長 弘中雅志 氏  講演Ⅲ「スヌーズレンを知る」 講師 NPO 法人スヌーズレンを普及する会 理事長 山根文夫 氏</p> <p>キ ふれあい・いきいきサロンの個別相談 486件【430件】</p>	<p>福祉の輪づくり運動の一環として、ふれあい・いきいきサロンの活動を支援した。参加者は主に高齢者のため、児童、子育て中の人や障害を持つ人が参加できる場となるよう支援した。</p> <p>サロン活動の再開、新設のきっかけとなる講習会になった。</p>

③ 在宅ひとり暮らし老人の会の支援

事業報告	評 価
<p>令和5年 6月10日・10月15日 西浦地区社会福祉協議会 自治会ごとに親睦会形式で開催 対象者 150名</p>	<p>さらに高齢化が進むため、孤立の防止とつながりの強化を目的として支援した。</p>
<p>令和5年10月16日 富海地区社会福祉協議会 防災研修、アフリカ太鼓の演奏と体験、昼食懇談、ビンゴゲームを実施 対象者 50名</p>	
<p>令和5年11月 8日 右田地区社会福祉協議会 北地域包括支援センターによる研修会を実施 対象者 24名</p>	
<p>令和5年11月12日 大道地区社会福祉協議会 大道まつりへの参加を兼ねて元気アップ体操、昼食会、余興を実施 対象者 50名</p>	
<p>令和5年11月21日 勝間地区社会福祉協議会 転倒予防教室、昼食会、レクリエーション、余興、抽選会を実施 対象者 56名</p>	
<p>令和6年 1月23日 小野地区社会福祉協議会 健康運動指導士による研修会を開催 対象者 20名</p>	
<p>令和6年 2月16日 中関地区社会福祉協議会 80歳以上ひとり暮らしの方に福祉弁当を作り配布 対象者 270名</p>	
<p>令和6年 3月 3日 華浦地区社会福祉協議会 75歳以上独居、80歳以上2人暮らし、寝たきりの方に弁当を配布し、弁当の内容を知ってもらうため福祉関係者にも弁当を配布 対象者 735名</p>	

④ 多世代地域交流拠点としての子ども食堂（地域食堂）の活動支援

事業報告	評価
<p>こども（地域）食堂へのボランティア派遣</p> <p>スマイルホーム 派遣回数 10回 派遣延人員 27名</p> <p>さばっこの会 派遣回数 7回 派遣延人員 79名</p>	<p>ボランティア活動に参加することで、子ども食堂の周知や理解につながった。</p>

(4) 地域福祉力の強化

① 小地域見守りネットワーク活動の支援

事業報告	評価
<p>民生委員・児童委員、福祉員、友愛訪問グループ員及び自治会福祉部関係者等と連携しながら、在宅ひとり暮らし高齢者等を対象とした小地域での見守り活動及び訪問活動を支援した。</p> <p>ア 在宅ひとり暮らし高齢者 5,569名【6,083名】</p> <p>イ 地域福祉（福祉の輪づくり運動）推進セミナー 我が事を意識した「誰もが安心して明るく楽しく暮らしていけるまちづくり」の見守りと助け合いが、防府の福祉風土の醸成と地域活動の推進に結びつくよう地域福祉推進セミナーを開催した。</p> <p>令和6年 1月24日 防府市文化福祉会館 参加人員 100名（オンライン参加人員4名）</p> <p>〔内容〕 演題「ひきこもり支援の正しい知識、8050問題の家族への見守り活動としてのかかわり」 講師 山口大学大学院医学系研究科保健学専攻 SDS支援システム開発講座 教授 NPO法人ふらっとコミュニティ 代表理事 山根俊恵 氏</p> <p>ウ 188見守りネットワーク連携会議への出席 令和5年11月 7日 オンライン会議 参加人員 1名</p>	<p>地域住民の困りごとを早期に発見し、専門機関や住民活動による支援に結びつくよう調整を行った。</p> <p>地域での課題が、児童、障害、高齢、ひとり親、引きこもり等多岐に及ぶため、『我がこと』として地域の状況を把握し課題に合ったテーマで実施した。</p>

(5) 地域の社会福祉法人・社会福祉施設等との連携・協働

事業報告	評価
<p>社会福祉法人地域公益活動推進協議会（幸せますふくしネット）は、</p>	<p>加盟団体の法人概要や実</p>

協議会内の情報共有を図るため社会福祉法人情報シートを作成した。	施している公益事業等を把握できるように努めた。
---------------------------------	-------------------------

(6) 福祉専門職コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置

事業報告	評 価																																										
<p>制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは対応困難な事案の解決に取り組むコミュニティソーシャルワーカーを配置した。</p> <p>① 配置人数 2名</p> <p>② CSW活動状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>③ 相 談 分 類</th> <th>件 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>介護保険・高齢サービスに関すること</td><td>2件【2件】</td></tr> <tr><td>障害者総合支援・障害サービスに関すること</td><td>2件【3件】</td></tr> <tr><td>父子・母子世帯に関すること</td><td>0件【1件】</td></tr> <tr><td>子育て・子どもの教育に関すること</td><td>1件【4件】</td></tr> <tr><td>地域福祉に関すること</td><td>18件【56件】</td></tr> <tr><td>生活保護に関すること</td><td>0件【0件】</td></tr> <tr><td>健康・医療に関すること</td><td>2件【1件】</td></tr> <tr><td>経済的援助に関すること</td><td>0件【0件】</td></tr> <tr><td>就労に関すること</td><td>0件【0件】</td></tr> <tr><td>身の回りの世話に関すること</td><td>0件【1件】</td></tr> <tr><td>家族関係</td><td>0件【3件】</td></tr> <tr><td>福祉制度等に関する連絡調整</td><td>1件【1件】</td></tr> <tr><td>高齢者、障害者、児童に関する行事等</td><td>1件【2件】</td></tr> <tr><td>社会資源等に関する連絡調整</td><td>1件【2件】</td></tr> <tr><td>地域の会議、サロン訪問等</td><td>486件【430件】</td></tr> <tr><td>機関・組織開催の会議、研修、行事等</td><td>1件【1件】</td></tr> <tr><td>その他研修会、視察等</td><td>2件【1件】</td></tr> <tr><td>講師派遣</td><td>0件【19件】</td></tr> <tr><td>その他（ボランティア）</td><td>10件【22件】</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>527件【549件】</td></tr> </tbody> </table> <p>※相談分類は複数の項目に重複している場合、各項目にカウント</p>	③ 相 談 分 類	件 数	介護保険・高齢サービスに関すること	2件【2件】	障害者総合支援・障害サービスに関すること	2件【3件】	父子・母子世帯に関すること	0件【1件】	子育て・子どもの教育に関すること	1件【4件】	地域福祉に関すること	18件【56件】	生活保護に関すること	0件【0件】	健康・医療に関すること	2件【1件】	経済的援助に関すること	0件【0件】	就労に関すること	0件【0件】	身の回りの世話に関すること	0件【1件】	家族関係	0件【3件】	福祉制度等に関する連絡調整	1件【1件】	高齢者、障害者、児童に関する行事等	1件【2件】	社会資源等に関する連絡調整	1件【2件】	地域の会議、サロン訪問等	486件【430件】	機関・組織開催の会議、研修、行事等	1件【1件】	その他研修会、視察等	2件【1件】	講師派遣	0件【19件】	その他（ボランティア）	10件【22件】	合 計	527件【549件】	<p>組織支援に向けて、地域の子ども食堂関係者、支援者、学校、NPO、ボランティア、地区社協、地区民児協と連携した。</p>
③ 相 談 分 類	件 数																																										
介護保険・高齢サービスに関すること	2件【2件】																																										
障害者総合支援・障害サービスに関すること	2件【3件】																																										
父子・母子世帯に関すること	0件【1件】																																										
子育て・子どもの教育に関すること	1件【4件】																																										
地域福祉に関すること	18件【56件】																																										
生活保護に関すること	0件【0件】																																										
健康・医療に関すること	2件【1件】																																										
経済的援助に関すること	0件【0件】																																										
就労に関すること	0件【0件】																																										
身の回りの世話に関すること	0件【1件】																																										
家族関係	0件【3件】																																										
福祉制度等に関する連絡調整	1件【1件】																																										
高齢者、障害者、児童に関する行事等	1件【2件】																																										
社会資源等に関する連絡調整	1件【2件】																																										
地域の会議、サロン訪問等	486件【430件】																																										
機関・組織開催の会議、研修、行事等	1件【1件】																																										
その他研修会、視察等	2件【1件】																																										
講師派遣	0件【19件】																																										
その他（ボランティア）	10件【22件】																																										
合 計	527件【549件】																																										

(7) コミュニティソーシャルワーク (CSW) 実践研修会開催への取り組み

事業報告	評 価
<p>CSW実践研修会フォローアップ研修</p> <p>山口県社会福祉協議会が主催するコミュニティソーシャルワーク実践会フォローアップ研修に参加した。研修は、「ソーシャルワーク」に関する講演及び実践報告からなり、その後参加者相互の情報交換を実施した。</p> <p>令和5年 6月28日                      山口県教育会館 参加人員 30名</p>	<p>分かりやすい講演及び具体的な実践報告によりCSWに関する理解が深まった。また、参加した市町社協職員との交流も図れた。</p>

(8) 防府市民生委員児童委員協議会との連携及び支援

事業報告	評 価								
<p>① 民生委員・児童委員及び地区民生委員児童委員協議会活動への協力・支援</p> <p>防府市民生委員児童委員協議会及び各地区民生委員児童委員協議会定例会等を支援した。</p> <p style="text-align: right;">延16回 参加人員253名 【延26回 参加人員542名】</p> <p>② ふれあいネットワークづくり運動に対する支援</p> <p>令和5年度ふれあいのネットワークづくり運動</p> <p style="padding-left: 20px;">㊦ ネットワークづくりを実施した民生委員・児童委員 183名【154名】</p> <p style="padding-left: 20px;">㊧ ネットワークづくりを実施した対象者 225名【212名】</p> <p style="padding-left: 40px;">【属性別内訳】</p> <table style="margin-left: 60px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">A 独居</td> <td style="text-align: right;">165名</td> </tr> <tr> <td>B 2人以上の高齢者世帯</td> <td style="text-align: right;">51名</td> </tr> <tr> <td>C ひとり親・世帯</td> <td style="text-align: right;">6名</td> </tr> <tr> <td>E その他</td> <td style="text-align: right;">18名</td> </tr> </table> <p>③ 全国民生委員互助共励事業の実施</p> <p>互助事業は、会員の死亡、疾病、災害にかかる弔慰金及び見舞金に関する受付及び申請をした。</p>	A 独居	165名	B 2人以上の高齢者世帯	51名	C ひとり親・世帯	6名	E その他	18名	<p>民生・児童委員や地区民児協会長から相談、問い合わせが出来る体制を整えたことにより、委員活動、地区民児協活動を推進することができた。</p> <p>民生・児童委員を中心にふれあいのネットワークづくり運動を進め、支援を必要とする人を支えるネットワークが形成された。</p>
A 独居	165名								
B 2人以上の高齢者世帯	51名								
C ひとり親・世帯	6名								
E その他	18名								

(9) 防府市自治会連合会との連携及び自治会福祉部の支援

事業報告	評 価
<p>地区社会福祉協議会が開催する福祉関係者合同研修会等（地区社協役員、福祉員、友愛訪問グループ員、民生委員・児童委員、自治会長、自治会福祉部長、自治会役員、老人クラブ、ボランティア）で福祉サービス情報や活動事例を説明し、併せて情報提供と連携を図れるよう支援した。</p> <p>自治会福祉部活動の支援につなげるため、地区社会福祉協議会長会議で実態についてアンケート調査を実施した。</p>	<p>地域の福祉行事において、単位自治会長や福祉部長の支援により活動を円滑に推進できるよう協働できる体制づくりに努めた。</p>

(10) 地域福祉関係の研修

事業報告	評 価
<p>令和5年 6月28日 市町社会福祉協議会地域福祉・ボランティア担当職員研修会 山口市 参加人員 2名</p>	<p>地域福祉事業に関する研修等に積極的に参加し、業務につながる自己研鑽に努めた。</p>
<p>令和5年 7月 6日 華城地区福祉関係者市外研修 広島県三次市 参加人員 33名</p>	
<p>令和5年 7月19日 市町社協福祉協議会地域福祉・ボランティア担当者との情報交換会 山口市 参加人員 4名</p>	
<p>令和5年10月26日 防災フェア2023 三友サルビアホール（防府市公会堂） 参加人員 6名</p>	
<p>令和5年11月 9日 大道地区民生委員児童委員協議会視察研修 美祢市社会復帰促進センター 参加人員 15名</p>	



## 2 老人福祉事業

32,444,091 円

高齢者の福祉増進のために、次の事業を実施した。

### (1) 防府市からの受託事業の推進

事業報告	評 価
<p>① 老人寝具乾燥事業</p> <p>在宅寝たきり高齢者及びひとり暮らし高齢者等（いずれも低所得世帯を対象）が日常生活に使用する布団、毛布等の寝具乾燥を実施し、保健衛生の向上に努めた。</p> <p>ア 実施期間 令和5年 7月 3日～令和6年 2月29日</p> <p>イ 実施世帯 286世帯【250世帯】</p> <p>ウ 実施枚数 461枚 【484枚】</p> <p>[内訳]</p> <p>敷布団 112枚【115枚】</p> <p>掛布団 194枚【206枚】</p> <p>毛布 155枚【163枚】</p>	<p>民生・児童委員の協力を得て、対象となる世帯に寝具の洗濯・乾燥を行うことで衛生状態の向上に加え、見守り活動や実態把握の一助となった。地域包括支援センターやケアマネージャー等にも取り組みが浸透し、地域の見守り体制や活動の促進へとつながった。</p>
<p>② 老人スポーツ普及事業</p> <p>第51回防府市いきいきシルバーふれあいスポーツ大会の開催</p> <p>令和5年 9月21日</p> <p>防府市スポーツセンター運動広場</p> <p>※雨天のため中止</p>	<p>健康づくりや生きがいづくりにつなげることができなかった。</p>
<p>③ 三世代交流事業</p> <p>13地区老人クラブ連合会及び2地区社会福祉協議会へ三世代交流活動費を助成し活動を支援した。</p> <p>参加人員 5,278名【6,568名】</p>	<p>高齢者が中心となって様々な遊びをとおして、高齢者の経験や技術を子や孫に伝承し、世代間の交流を深めるとともに高齢者の生きがいを高めた。</p>
<p>④ 幸せます大学（老人大学校）設置運営事業</p> <p>高齢者及び向老期の方々に対し、体系的な学習の機会を提供することにより、社会経済の変化への適合と生きがいのある豊かな老後を創造することを目的に開講した。</p> <p>第21期幸せます大学（後期）</p> <p>防府市文化福祉会館等 参加延人員 478名【300名】</p>	<p>2年間の講座の後期では、前期を上回る参加延人員があり、充実したものとなった。</p>
<p>⑤ 地域住民グループ支援事業</p> <p>地域住民の自主的な活動として各地区で実施されている「ふれあい・いきいきサロン等」に健康運動指導士・歯科衛生士・管理</p>	<p>高齢者等に対し一層の介護予防が図れるよう地域住民の自主的グループの活動</p>

<p>栄養士を紹介・派遣している。</p> <p>今年度は、健康運動指導士11件、管理栄養士3件、歯科衛生士1件を派遣した。</p> <p>地域の会議、サロン訪問等 39件【18件】</p>	<p>支援と連絡調整を行った。</p>
---	---------------------

(2) 防府市からの補助事業の推進

事業報告	評価
<p>① 総合社会福祉大会事業</p> <p>第41回防府市総合社会福祉大会を福祉関係6団体が主催で開催し、永年にわたり社会福祉へ貢献された方への表彰を行うとともに、市民の福祉への関心を高めるために記念講演や福祉機器展等を行った。</p> <p>令和5年 9月 2日 三友サルビアホール（防府市公会堂） 参加人員 300人【250人】</p> <p>〔内容〕</p> <p>記念講演 演題「可能性への挑戦」 講師 舞の海 秀平 氏</p> <p>福祉展 福祉機器展、福祉施設作品展及び即売、福祉相談コーナー</p> <p>・運営委員会の開催 令和5年 6月27日（第1回） 防府市文化福祉会館 令和5年 8月 2日（第2回） 防府市文化福祉会館</p> <p>・表彰選考委員会の開催 令和5年 7月18日 防府市文化福祉会館</p> <p>② 敬老会等助成事業</p> <p>ア 地区社会福祉協議会主催による記念行事等へ助成</p> <p>地区においては新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことで、敬老会（式典等）を再開する地区が増えてきた。しかし、敬老会を中止している地区では、各地区福祉関係者（民生委員・児童委員、福祉員、友愛訪問グループ員、自治会役員、老人クラブ等）により、商品券や記念品を対象者宅に届けるため助成した。</p> <p>イ 社会福祉施設主催による記念行事等へ助成</p> <p>市内の高齢者施設で実施される敬老会等行事に対して地区社会福祉協議会を通じて助成した。</p>	<p>内容を工夫し、参加人数の増加に努めた。</p> <p>敬老会行事等を開催した地区社協や社会福祉施設に助成した。75歳以上の方へお祝いの気持ちを伝えると同時に、社会参加や交流の機会にもなっている。実情に応じた敬老会等の運営について支援した。</p>

(3) 高齢者福祉の推進

事業報告	評 価
<p>高齢者虐待防止ネットワークへの支援                      関係団体相互の情報交換、連携協力、高齢者虐待の予防、早期発見、早期対応及び再発防止を図った。</p> <p>・防府市高齢者虐待ネットワーク                      令和6年1月11日 防府市文化福祉会館 22名</p>	<p>地域の高齢者を見守るネットワークと連携できる機会となる。</p>

3 障害福祉事業

1,251,000円

障害者の福祉増進のために、次の事業を実施した。

(1) 防府市からの受託事業の推進

事業報告	評 価
<p>① 障害者スポーツ交流支援事業                      ア 山口県キラリンピックへの参加を支援                      本事業は、10月に開催のキラリンピック兼特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動鹿児島大会」へ派遣する選手の選考会である。市内在住で参加要望があった場合に同行するものであるが、今年度は要望がなかった。</p> <p>イ 第61回防府市障害者体育大会の開催                      令和5年10月14日 防府市文化福祉会館 前庭                      参加人員 289名                      開催についての協議                      令和5年 8月 7日 主催団体で協議</p> <p>② 障害者レクリエーション推進事業                      在宅知的障害者（児）とその家族を対象に、社会参加及び家族間の交流を図ることを目的として「みかん狩り」を実施した。                      令和5年10月22日 松田農園（防府市西浦）                      参加人員 140名</p> <p>③ 障害者地域参加促進事業                      ア 視覚障害者の部</p>	<p>障害者のスポーツを通して交流を深めるための事業であるが、社協職員の同行を要望されることはなかった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたため、午前中までの競技として開催した。</p> <p>レクリエーションを通して日常で体験できないことを経験する機会を提供するとともに、在宅の知的障害者・児とその家族が交流を深め、積極的な社会参加を行う場を提供するために企画した。</p> <p>聴覚障害者や視覚障害者を対象に社会生活に対する</p>

<p>・レクリエーション（みかん狩り）の開催 視覚障害者とその家族及びボランティアが交流を通して親睦を深め、社会参加の機会を促進するとともに、視覚障害者福祉の増進を図ることを目的として企画した。コロナ禍のため、4年ぶりの開催となった。</p> <p>令和5年10月22日 松田農園（防府市西浦） 参加人員 4名</p> <p>イ 聴覚障害者の部 ・防府市クリーンセンター研修 聴覚障害者が社会生活に係る学習や体験を通して、日常生活の向上と社会参加の機会の獲得を目的として企画した。令和元年以来4年ぶりの開催となった。</p> <p>令和5年11月14日 防府市クリーンセンター 参加人員 6名</p>	<p>学習の機会を提供するとともに、日常で体験できないことを経験する機会を提供して障害者福祉の増進を図るために企画した。</p>
--	--

(2) 防府市障害福祉団体連合会及び障害者福祉団体活動の支援

事業報告	評価
<p>障害者福祉団体活動の支援 ア 防府市ふうせんバレーボール大会への参加 令和5年 7月 1日 ソルトアリーナ防府 参加協力職員 2名</p> <p>イ 防府市障害者親睦卓球大会への参加 令和6年 3月 9日 ソルトアリーナ防府 参加協力職員 2名</p>	<p>障福連行事の運営補佐をすることで、円滑な進行を助け、会員の交流や社会参加を支援した。</p>

(3) 難病対策の支援

事業報告	評価
<p>山口・防府難病対策地域協議会支援者会議に委員として登録</p>	<p>関係機関のそれぞれの取り組みや当事者の意見を把握し連携を図ることが必要である。</p>

#### 4 児童福祉事業

840,049 円

児童の福祉増進のために、次の事業を実施した。

##### (1) 「赤ちゃん文庫」事業の推進

事業報告	評 価
<p>赤ちゃん文庫として本年度誕生した赤ちゃん全員に対し、母子保健推進員の協力を得て生後2～3か月児の家庭訪問に際して、絵本を1冊ずつ贈呈した。</p> <p style="text-align: center;">人 数 769名【764名】</p>	<p>子育て家庭を応援する地域づくりを進め、子育ての孤立や育児不安の抱え込みの防止につながるよう努めた。問題の早期発見・早期対応のため、関係機関との連携にも努めた。</p>

##### (2) チャイルドシート貸出事業の推進

事業報告	評 価
<p>里帰り等で6歳未満の幼児を乗せて自動車を運転する必要がある場合に、1か月を限度に貸し出した。</p> <p>① 利用人数 310名【266名】</p> <p>② 貸出回数 373回【319回】</p> <p style="padding-left: 20px;">ベビー用 42回【36回】</p> <p style="padding-left: 20px;">乳幼児用 301回【251回】</p> <p style="padding-left: 20px;">学童用 30回【32回】</p>	<p>ホームページ等で周知したことにより少しずつ貸し出しも増加した。無料貸し出しではあるが、福祉活動への寄付金につながった。前年度に比べ利用人数、貸出回数ともに増えた。</p>

##### (3) 小地域見守りネットワーク活動の推進

事業報告	評 価
<p>社会福祉施設、学校、老人クラブ及び地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会との連携につながる活動を支援した。</p> <p>外国語を話す小学1年生の通学支援を実施し、学校やNPO、ボランティアや民生委員児童委員と連携した。</p>	<p>きめ細かい地域の見守り体制の支援に努めた。</p>

(4) 子どもの居場所づくりの支援

事業報告			評 価																																	
<p>幸せます防府市子ども食堂ネットワーク協議会を通して子どもの居場所づくりを支援した。</p> <p>① 加入団体数</p> <p>    市内食堂数        12 食堂</p> <p>    サポーター会員    15 団体</p>			<p>今年度の新規サポーター会員は「未来世代との絆チーム」（明治安田生命保険相互会社）の1団体だった。</p>																																	
<p>② 子ども食堂開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>食堂名</th> <th>回数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あおぞら食堂（華浦）</td> <td>29</td> <td>毎週金曜日</td> </tr> <tr> <td>スマイルホーム（中関）</td> <td>9</td> <td>5/7、6/17、7/7、9/13、10/7、11/5、12/17、1/14、2/4</td> </tr> <tr> <td>ひだまり食堂（佐波）</td> <td>21</td> <td>学習支援、フードパントリー、ウオークラリー等</td> </tr> <tr> <td>さくら食堂（向島）</td> <td>12</td> <td>毎月第2土曜日</td> </tr> <tr> <td>さばっこの会（佐波）</td> <td>7</td> <td>6/25、8/11・23、9/10、12/10、1/14、3/17</td> </tr> <tr> <td>まつぼっくり食堂（松崎）</td> <td>5</td> <td>6/4、8/6、10/1、12/10、2/25</td> </tr> <tr> <td>中関ふれあい食堂（中関）</td> <td>1</td> <td>7/29</td> </tr> <tr> <td>かいほく地域食堂</td> <td>4</td> <td>8/26、12/27、1/12、3/23</td> </tr> <tr> <td>勝間ふれあい食堂（勝間）</td> <td>2</td> <td>6/24、1/7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>90</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				食堂名	回数	備 考	あおぞら食堂（華浦）	29	毎週金曜日	スマイルホーム（中関）	9	5/7、6/17、7/7、9/13、10/7、11/5、12/17、1/14、2/4	ひだまり食堂（佐波）	21	学習支援、フードパントリー、ウオークラリー等	さくら食堂（向島）	12	毎月第2土曜日	さばっこの会（佐波）	7	6/25、8/11・23、9/10、12/10、1/14、3/17	まつぼっくり食堂（松崎）	5	6/4、8/6、10/1、12/10、2/25	中関ふれあい食堂（中関）	1	7/29	かいほく地域食堂	4	8/26、12/27、1/12、3/23	勝間ふれあい食堂（勝間）	2	6/24、1/7	計	90	
食堂名	回数	備 考																																		
あおぞら食堂（華浦）	29	毎週金曜日																																		
スマイルホーム（中関）	9	5/7、6/17、7/7、9/13、10/7、11/5、12/17、1/14、2/4																																		
ひだまり食堂（佐波）	21	学習支援、フードパントリー、ウオークラリー等																																		
さくら食堂（向島）	12	毎月第2土曜日																																		
さばっこの会（佐波）	7	6/25、8/11・23、9/10、12/10、1/14、3/17																																		
まつぼっくり食堂（松崎）	5	6/4、8/6、10/1、12/10、2/25																																		
中関ふれあい食堂（中関）	1	7/29																																		
かいほく地域食堂	4	8/26、12/27、1/12、3/23																																		
勝間ふれあい食堂（勝間）	2	6/24、1/7																																		
計	90																																			

5 ボランティアセンター事業

1,699,648円

市民のボランティア活動に関する理解と関心を深めるとともに、関係機関及び団体に対して福祉教育等の育成支援を行い、福祉の推進に資するために次の事業を実施した。

(1) あらゆる人の社会参加を支援

① ボランティアコーナーの設置

事業報告			評 価
<p>週2回ボランティアアドバイザーを配置して、ボランティア及びボランティアに関心のある人に対し、情報提供及び相談に応じるとともに、ボランティア同士が気軽に交流できるように交流の場を提供した。</p> <p>ア 開設曜日・時間 月・金曜日 13:00～16:00</p>			<p>新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行が見受けられたので、ボランティアコーナーは状況に応じて開設した。</p>

イ 開設場所	ボランティアコーナー（2階16号室）	ボランティア活動の開始や継続の支援を行いつつ、ボランティア同士の交流を促進した。
ウ 開設日数	67日【29日】	
エ 延来場者数	277名【157名】	

② ボランティア相談の受付

事業報告	評価
<p>ボランティアコーディネーターを配置して、ボランティア及びボランティアに関心のある人に対し、情報提供及び相談に応じるとともに、ボランティアを必要とする施設・団体・個人とボランティア団体・個人を結びつけた。</p> <p>相談件数 516件【443件】</p>	<p>誰もが気軽に活動に参加できるようにボランティアセンターの機能を強化し、相談体制の充実や情報の提供に努めた。</p>

③ ボランティア研修の開催

事業報告	評価
<p>ア 音訳ボランティア講習会 視覚障害者への情報提供の手段として、書かれた文字を音声に訳すボランティアを養成する講習会を年間23回開催した。 令和5年 4月27日～令和6年 3月28日 防府市文化福祉会館 参加延人員 87名【60名】</p> <p>イ ボランティア入門講座 令和6年 3月14日 防府市文化福祉会館 参加人員 19名【16名】</p> <p>ウ 講師の派遣 令和5年12月24日 防府市手話奉仕員養成講座 防府市文化福祉会館 派遣人員 1名</p>	<p>技術的な支援が必要なボランティアは長期間の研修であるが積極的な受講があった。 福祉風土の育成とボランティア団体の強化につながった。</p>

④ ボランティア団体・個人の活動支援

事業報告	評価
ア ボランティアセンター登録の実施	広報紙などでボランティ

<p>㊦ ボランティア団体 35団体【37団体】</p> <p>㊧ 個人ボランティア 104名【133名】</p> <p>イ ボランティア活動等保険への加入促進</p> <p>㊦ 加入取扱件数</p> <p>ボランティア活動保険 3,590名【3,729】</p> <p>ボランティアセンター登録団体及び個人ほか</p> <p>市社協理事及び評議員、民生委員・児童委員（主任児童委員）、福祉員、友愛訪問グループ員</p> <p>ボランティア行事用保険 136件【130件】</p> <p>福祉サービス総合補償 11件【11件】</p> <p>㊧ 事故取扱件数</p> <p>ボランティア活動保険 3件【7件】</p> <p>ボランティア行事用保険 0件【0件】</p> <p>福祉サービス総合補償 1件【1件】</p>	<p>ア活動の紹介等を行い、継続的に支援した。</p> <p>保険への加入促進を行うとともに、事故発生時に速やかに手続きを行い、加入者に適切な補償を迅速に行った。</p>
---	---

(2) 協働の推進

① 協働情報紙「まなぼら」の発行

事業報告	評価
<p>ボランティア情報を提供するために防府市生涯学習課、防府市市民活動支援センター及び防府市社会福祉協議会（ボランティアセンター）が協働で作成して、ボランティア及び生涯学習等についての情報を発信した。</p> <p>ア 発行回数 年4回（6月、9月、12月、3月）発行</p> <p>イ 発行部数 1,950部</p>	<p>市民活動やボランティア活動を活性化していくため、三機関が協力して発行した。市民が活用しやすい情報を提供することができた。</p>

② ボランティア行事への参加協力

事業報告	評価
<p>防府市生涯学習課が主催する生涯学習フェスティバルの企画・運営等を行う実行委員会（6回）及び生涯学習フェスティバルに参加し、協力した。</p>	<p>市民に身近なフェスティバルの開催に寄与するとともに、市民がフェスティバルに参加することで、ボランティア活動への理解が深まるよう啓発に努めた。</p>



③ 地域における福祉教育の推進

事業報告	評 価
<p>ア 福祉体験学習への支援</p> <p>㊦ 福祉体験学習（総合的な学習の時間）におけるゲストティーチャーの派遣支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験 牟礼南小学校、新田小学校、華浦小学校、玉祖小学校、向島小学校、牟礼小学校、西浦小学校、勝間小学校</li> <li>・手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験及び手話体験 華浦小学校（2回）、華城小学校、新田小学校、玉祖小学校、向島小学校、牟礼小学校、勝間小学校</li> </ul> <p>㊧ 福祉体験学習（総合的な学習の時間）における職員の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習 牟礼南小学校</li> <li>・車いす体験及びアイマスク体験 牟礼南小学校、華浦小学校、玉祖小学校、新田小学校、牟礼小学校、向島小学校、華城小学校、佐波小学校、松崎小学校</li> </ul> <p>イ 防府市青少年ボランティア推進委員会への協力 青少年によるボランティア活動に協力した。</p>	<p>地区社協及び地区民児協とともに福祉体験学習の企画立案に取り組んだ結果、学校、地域、社協の意見が集約された体験学習となった。</p> <p>車いす及びアイマスク体験を実施したことにより、地域の方々と学校との関係づくりの強化につながった。</p> <p>また、複数日に分けて実施した学校もあり、体験だけでなく、福祉について詳しく教えることができ理解が深まった。</p>

④ 企業等社会貢献活動の推進

事業報告	評 価
<p>ア 企業ボランティアモデル事業所（山口県、山口県社会福祉協議会、山口きらめき財団指定事業）の支援</p> <p>平成8年度から社会貢献活動や従業員の行うボランティア活動への支援などを積極的に行う企業を企業ボランティアモデル事業所として指定しており、ボランティア情報等を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブリヂストンBRM株式会社（令和5年度から指定）</li> </ul> <p>イ 研修会への参加</p> <p>令和5年10月 8日 協働の推進ネットワーク会議 山口市 参加人員 1名</p>	<p>企業ボランティアモデル事業所を企業、団体及び市民に周知することで、企業のボランティア活動を促進した。</p>

⑤ ボランティア推進機関との連携及び活動支援

事業報告	評 価
<p>幅広くボランティア推進機関及びボランティア団体等と連携するとともに活動を支援した。</p> <p>ア 防府市市民活動支援センター、防府市生涯学習ボランティア相談コーナー等との連携</p> <p>イ 特定非営利法人（NPO法人）との連携及び活動支援</p> <p>ウ 防府ボランティア連絡会との連携及び活動支援</p> <p>㊦ 例 会 原則として毎月第1木曜日 参加人員 1名</p> <p>㊧ 行 事 令和5年11月 9日 防府ボランティアのつどい 防府市文化福祉会館 参加人員 28名</p>	<p>市民活動支援センター、生涯学習ボランティア相談コーナー等と連携し、地域のボランティアやNPO法人からの相談に応じ、活動を支援した。</p> <p>例会、行事及びつどいに参加して連携及び活動支援を行うことで、会員・団体と関係づくりを強化できた。</p>

⑥ 災害ボランティア活動の支援

事業報告	評 価
<p>災害が発生していない平常時から「被災者」と「ボランティア」をつなぐセンター運営のため、県社協の主催する県内社協合同の研修会に参加した。</p> <p>令和5年11月10日 山口県市町社協災害ボランティアセンター運営者養成研修会 山口市 参加人員 3名</p>	<p>昨年の県内被災地の状況を確認し、現在の災害ボランティアセンター運営に関する基礎的な知識を学んだ。</p>

新⑦ 県内連携による災害ボランティアセンター運営に向けたICTの活用

事業報告	評 価
<p>令和5年 9月21日 山口県災害支援アプリに関する説明会 Web 参加人員 2名</p>	<p>災害ボランティアセンター運営に関するICT活用による基礎的な知識を学んだ。災害時に活用しやすく迅速なセンター運営ができるよう連携を深めることができた。</p>

新⑧ 災害ボランティアセンター運営マニュアルの修正

事業報告	評 価
<p>近年のICTを活用した災害ボランティアセンター運営に対応すべく平成30年度作成の災害ボランティアセンター運営マニュアルの修正について事務局内で6回協議した。</p>	<p>大規模な災害が発生した際、市社協が少人数で災害ボランティアセンターを運営できるよう職員の情報共有に努めた。</p>

(3) 組織基盤の強化

① ボランティア団体への助成

事業報告	評 価
<p>防府市における非営利の自主的、主体的なボランティア活動で、特に福祉分野におけるボランティア活動を目的とした団体を支援するとともに、個々の団体に対する支援をとおり、防府市全体におけるボランティア活動の普及と活性化を図ることを目的として助成した。</p> <p>ボランティア活動基本助成 10件【9件】</p>	<p>ボランティア団体に対する支援をとおり、市全体におけるボランティア活動の普及と活性化を図った。</p>

② 24時間テレビ「愛は地球を救う」への協力

事業報告	評 価
<p>市内5校の高校生、市内1校の短大生、市内1校の専門学校生ボランティアが募金活動に従事し、街頭募金を実施して24時間テレビ「愛は地球を救う46」に協力した。また、事前学習会を行うことで、募金活動の趣旨を理解するように努めた。</p> <p>令和5年 8月24日 事前学習会 防府市文化福祉会館 参加人員 63名【45名】</p> <p>令和5年 8月27日 街頭募金 イオン防府店 参加人員 66名【53名】</p>	<p>市内全校の高校生・短大生・専門学校生ボランティアが積極的に募金活動に取り組んだ。</p>

【生活支援部門】

1 生活支援事業

3,414,855 円

地域における相談や援助活動の充実及び住民の参加による各種福祉サービス等の実施に向け、総合的に行った。

(1) 福祉総合相談事業

① 福祉総合相談の開催

事業報告					評 価
ア 開催状況					概ね計画どおり開催することができた。 相談区分によっては、相談人数のばらつきが大きい。 司法書士相談、弁護士相談については、相談人数が増加した。
相談区分	担 当	開設日数	相談人数	相談件数	
心配ごと相談	相 談 員	243日 【242日】	38名 【44名】	37件 【41件】	
労働・年金相談	社会保険 労 務 士	11日 【9日】	2名 【4名】	2件 【4件】	
司法書士相談	司 法 書 士	21日 【23日】	95名 【74名】	83件 【66件】	
弁護士相談	弁 護 士	24日 【23日】	146名 【125名】	126件 【109件】	
合 計		延べ299日 【308日】	281名 【247名】	248件 【220件】	
イ 相談業務取扱件数（心配ごと相談、労働・年金相談、司法書士相談、弁護士相談）					
種 別	専門相談員 取扱件数	種 別	専門相談員 取扱件数		
生 計	5【4】	人 権 ・ 法 律	21【40】		
年 金	2【3】	財 産	96【68】		
職 業 ・ 生 業	1【10】	事 故	8【1】		
住 宅	25【21】	児 童 福 祉 ・ 母 子 保 健	0【1】		
家 族	21【15】	教 育 ・ 青 少 年	0【1】		
結 婚	3【3】	心 身 障 害 者 福 祉	0【0】		
離 婚	18【19】	母 子 福 祉 ・ 父 子 福 祉	0【0】		
健 康 ・ 衛 生	0【1】	老 人 福 祉	1【7】		
医 療	2【1】	苦 情	0【3】		
精 神 ・ 衛 生	0【1】	そ の 他	45【21】		
合 計				248【220】	
		上記のうち解決したもの	183【142】		
		継続指導中のもの	0【7】		
		他機関に紹介・その他	65【71】		

② 福祉総合相談窓口の広報啓発活動の推進

事業報告	評 価
社協だよりやホームページに福祉総合相談の内容を掲載し、広く周知を図った。	市民に広く周知することにより、問合せが増加した。

(2) 有料在宅福祉サービス事業

有料在宅福祉サービス事業は、住民参加型（会員制）による有料の家事援助を中心とした事業です。家事援助等の支援が必要な高齢者世帯や障害者世帯等へ協力会員を派遣し、住み慣れたところで安心して暮らせるための在宅福祉の支援・向上に努めた。

① 利用会員及び協力会員の募集

事業報告	評 価
<p>ア 令和5年度活動状況</p> <p>㊦ 登録会員  協力会員数 10名【8名】  利用会員数 31名【33名】</p> <p>㊧ 実働会員  協力会員数 6名【6名】  利用会員数 23名【30名】</p> <p>㊨ 実稼動延回数及び延時間  実稼動延回数 611回 【659回】  延時間 1,026時間 【1,155時間】</p> <p>㊩ 支援内容  掃除 530時間00分【519時間15分】  食事の支度 105時間45分【125時間10分】  買物 165時間40分【203時間30分】  洗濯 2時間40分【8時間05分】  話し相手 52時間05分【54時間00分】  介助 20時間00分【84時間00分】  その他 149時間50分【161時間00分】</p> <p>イ 募集状況  社協だよりやホームページで事業の紹介と会員募集を行い、利用会員は3名の新規登録、協力会員は2名の新規登録があった。</p>	<p>利用会員は新規で3名の登録があったが、施設入所、入院、介護保険利用により5名が退会した。協力会員は、新規で2名の登録があった。</p> <p>稼働できる協力会員が以前に比べて増えた。</p>

② 協力会員研修会等の開催

事業報告	評 価
<p>協力会員の資質やモチベーションの向上を目的に、研修会を開催した。</p> <p>令和6年 2月29日 防府市文化福祉会館 参加人員 7名【6名】</p>	<p>利用会員への対応スキルの向上のため、支援に役立つ研修会を開催した。</p>

③ 広報啓発活動の実施

事業報告	評 価
<p>社協だよりやホームページ、市の広報物等に事業内容を掲載し、広く周知を図るとともに、福祉関係者をはじめ関心を持つ方への説明等を行った。</p>	<p>市民に広く周知したことで、本人や家族、その関係者から年間約20件を超える問合せがあり、その中から会員登録につながった。</p>

(3) 福祉車両貸出事業

① 福祉車両（車いす同乗車）貸出事業の推進

事業報告	評 価
<p>車いす利用者等の人々が日常生活を営むうえで、生活圏域の拡大や自立と社会参加の促進を図るために必要な手段として、福祉車両の貸し出しを行った。</p> <p>ア 貸出車両 トヨタラクティス、マツダMPV、マツダフレアワゴン</p> <p>イ 貸出件数 16件（走行実績493km） 【 8件（走行実績355km）】</p>	<p>リピーターが増え、昨年度の2倍の貸し出しがあった。</p>

(4) 生活福祉資金の受付

低所得者、障害者及び高齢者世帯に対し、山口県社会福祉協議会が行う生活福祉資金の受付を行った。

① 生活福祉資金の貸付

事業報告	評 価
<p>ア 生活福祉資金の貸付</p> <p>㊦ 相談件数 357件【387件】</p> <p>㊧ 貸付件数 12件（県社協貸付）【89件】 〔内訳〕</p>	<p>特例貸付の終了に伴い、貸付件数が減少した。</p> <p>自立相談支援センターと連携を図りながら貸付することにより、自立を促進で</p>

総合支援資金	0件【 34件】	きた。
教育支援資金	1件【 5件】	
福祉資金	11件【 50件】	
不動産担保型生活資金	0件【 0件】	
イ 臨時特例つなぎ資金の貸付		
⑦ 相談件数	1件【 1件】	
⑧ 貸付件数	0件【 0件】	

② 研修会等への参加

事業報告	評価
令和5年 6月16日 生活福祉資金貸付事業新任担当者研修会 山口市 参加人員 1名	他市町社協との情報交換を行うことができた。
令和6年 3月18日 生活福祉資金貸付事業担当者研修会 山口市 参加人員 1名	

## 2 権利擁護事業

8,954,499円

(1) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

専門員、推進員、生活支援員等が協力し、日常生活上の判断が十分できない人や日常生活に不安のある人が、地域で安心して生活できるように、福祉サービスの利用援助やそれに伴う日常的な金銭管理等を支援した。

① 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）の利用促進

事業報告	評価	
ア 相談者及び利用者への支援	利用者の意思の尊重と利益の保護のため、利用者と共に考え、各関係機関と連携して支援した。自宅訪問などアウトリーチを積極的に行うことで個別支援（訪問、電話、手続き等）の充実を図ることができた。	
⑦ 専門員、推進員、生活支援員の設置		
専門員		2名【 2名】
推進員		2名【 2名】
実稼働生活支援員		14名【 14名】
⑧ 活動状況		
・相談件数		
問合せ		29件【 107件】
初回相談		24件【 32件】
相談援助		4,073件【 5,170件】
・書類等預かりサービス	33件【 33件】	

<p>・日常的金銭管理サービス 47件【 51件】</p> <p>㉞ 現物等調査（山口県社会福祉協議会） 令和5年 9月 7日 防府市文化福祉会館</p> <p>㉟ 審査会（山口県社会福祉協議会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局審査会 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年 5月17日 審査件数 2件</li> <li>令和5年 7月 5日 審査件数 1件</li> <li>令和5年 9月 6日 審査件数 1件</li> <li>令和6年 1月24日 審査件数 2件</li> <li>令和6年 3月13日 審査件数 1件</li> </ul> </li> <li>・契約締結審査会審査件数 0件</li> <li>・新規契約及び解約件数 <ul style="list-style-type: none"> <li>新規契約 1件【 3件】</li> <li>解 約 4件【 2件】</li> <li>変 更 2件【 1件】</li> </ul> </li> <li>・事例検討 0件【 1件】</li> </ul> <p>イ 地域住民及び関係機関等への周知 地域包括支援センター及び民生委員・児童委員にパンフレットを配布し説明を行った。</p> <p>ウ 必要に応じたケース会議等への参加 利用者を取り巻く状況や発生した課題に対して、利用者の意思を尊重した上で、関係者同士で支援の方向性を共有するためのケース会議に参加した。</p> <p>エ 専門員、推進員及び生活支援員の資質向上</p> <p>㉞ 専門員会議 令和5年10月24日（第1回） 山口県社会福祉会館 参加人員 2名 令和6年 3月12日（第2回） 山口県社会福祉会館 参加人員 2名</p> <p>㉟ 専門員・推進員・生活支援員研修会等 令和5年 7月12日 山口県日常生活自立支援事業新任担当者研修会 山口県社会福祉会館 参加人員 2名</p>	<p>ケース会議に参加することで利用者と各関係機関内での支援の方向性が明確となり、包括的な支援につながった。</p> <p>県社協主催の研修会等については、会場に参加して各市町と事例検討や情報収集を行った。</p>
--	---



<p>令和5年10月27日  現任生活支援員研修会  防府市文化福祉会館 参加人員 13名  演題「身近な応急手当」  講師 防府市消防本部 警防課職員</p>	<p>現任生活支援員研修会については、応急手当に関する知識を学び、今後の利用者との関わりの中で役立ててもらえる機会となった。講義後には生活支援員同士で情報交換を行った。</p>
--	--

(2) 法人成年後見受任事業

後見人が必要な状況にもかかわらず、親族による後見を受けられず、経済的な事情から他の後見人を得られない人のために財産管理や身上監護の後見業務を行った。

① 法人成年後見の受任

事業報告		評価
ア 新規問合せ	0件【 0件】	後見人等として財産管理や身上監護の後見業務を毎月行い、被後見人等の意向に添った支援ができた。
イ 受任件数	6件【 6件】	
新規	0件【 1件】	
終了	0件【 1件】	
ウ 後見業務回数	411回【417回】	

② 法人成年後見受任事業の利用促進

事業報告	評価
防府市地域包括支援センターと連携を深めた。 成年後見の申立ての相談を受けて法人後見人として受任できることを教示した。	市地域包括支援センターに市長申立ての後見人として受任できることを周知した。

③ 関係機関との協力体制の構築

事業報告	評価
法人成年後見人として円滑な支援ができるよう関係機関との協力体制の構築に努めた。	関係機関と連携することにより、被後見人に寄り添った支援ができた。

④ 法人成年後見支援センター（山口県社会福祉協議会）との連携

事業報告	評価
<p>令和5年12月28日 成年後見制度利用者における意思決定支援研修会 山口県健康づくりセンター 参加人員 1名</p>	<p>他市町社協及び福祉関係者との情報交換を行い、課題への対応方法等について共有することができた。</p>

(3) 防府市成年後見センターの運営（中核機関）

① 成年後見制度の広報・啓発

事業報告	評価
<p>成年後見センターについて、ホームページ、社協だより及び市広報で広く周知するとともにふれあい・いきいきサロン（8か所）で説明した。 また、認知症、知的障害、精神障害等により判断能力が十分でない人が地域で安心して暮らせるよう成年後見制度の利用促進を図ることを目的として、市民向けのセミナー及び相談会を開催した。</p> <p>令和6年 1月26日 防府市成年後見利用促進セミナー・相談会 防府市文化福祉会館 参加人員 セミナー 60名【30名】 相談会 6組【1組】</p>	<p>成年後見を必要とする人が制度を適切に利用できるよう、成年後見制度について市民へ周知した。</p>

② 成年後見に関する相談受付

事業報告	評価
<p>市民や福祉関係者からの成年後見に関する相談を受けて支援調整を行った。また成年後見制度を利用するための手続きや申立に関する情報提供を行った。</p> <p>相談件数 244件【358件】</p>	<p>成年後見センターの周知を行ったことにより具体的な手続方法や制度の詳しい内容の説明を希望される方は来所されるケースが多く見られた。</p>

③ 成年後見制度利用促進機能

事業報告	評価
<p>ア 支援方針会議の開催 中核機関へ直接相談に入ったケースや地域包括支援センター、</p>	<p>市長申立案件や支援困難事例等について専門家の助</p>

<p>行政に相談があったニーズの中から支援関係者、専門職などの参加により現状把握、ニーズや課題などアセスメントにより支援方針の検討を行った。</p> <p>令和6年 2月19日 支援方針会議（第1回） 検討案件 2件</p> <p>令和6年 3月11日 支援方針会議（第2回） 検討案件 1件</p> <p>イ 研修会等への参加</p> <p>令和5年11月14日 山口市成年後見センター講演会 Web 参加人員 2名</p> <p>令和5年12月 4日 家事関係機関との連絡協議会 Web 参加人員 1名</p> <p>令和5年12月13日 ふくし信託オンラインセミナー Web 参加人員 2名</p> <p>令和6年 2月26日 K-ねっと 全国セミナー Web 参加人員 2名</p> <p>令和6年 3月27日 山口県成年後見制度利用促進協議会 Web 参加人員 1名</p>	<p>言をふまえ検討することができ、支援の方向性が明確になった。</p> <p>成年後見制度利用促進について、今後の取り組みや課題について把握することができた。</p>
--	--

### 3 生活困窮者自立支援事業

11,140,049 円

#### (1) 防府市自立相談支援センターの機能充実

生活保護に至る前の段階の自立支援策を強化するために平成27年度に施行された生活困窮者自立支援法に基づいて、市からの委託を受けて防府市自立相談支援センターを運営して事業を実施した。

##### ① 自立相談支援センター及び制度の周知

事業報告	評価
<p>広報紙「社協だより防府」や社協ホームページにて事業内容や住居確保給付金など各種制度について掲載した。また、相談窓口などにチラシを設置し周知に努めた。</p>	<p>広報紙やホームページを見て、相談につながるケースが多く見られた。</p>

##### ② 自立相談支援事業の実施

事業報告	評価
<p>ア 相談実績等</p> <p>㊦ 相談件数 11,012件【8,028件】</p> <p>㊧ 相談者数 235名【230名】</p>	<p>※国目安10万都市の場合 相談者数 16人/月 登録者数 8人/月 ※防府市10万人当たり</p>

㊦ 登録者数	61名【 87名】	相談者数17.3人/月 国目安は達成 登録者数4.5人/月 国目安は未達成 防府市の人口11.37万人 (令和6年3月末日)
㊧ 支援決定数	78名【 113名】 (プラン策定者)	
㊨ 就職者数	23名【 29名】	
<b>新</b> イ 支援終了者への重点的フォローアップの実施 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金終了者等に対して、訪問・電話による現況確認を実施した。		状況に応じた支援につなげることができた。
㊩ アウトリーチ実施件数	201件【 - 件】	
㊪ 再相談実施件数	21件【 - 件】	
㊫ 再支援決定数	8名【 - 名】	

### ③ 住居確保給付金の支給

事業報告		評 価
ア 相談件数	118件【302件】	家賃を給付することで、相談者が安心して就労や就職活動をするにつなげた。
イ 申請件数	5件【 56件】	
ウ 決定件数	4件【 55件】	

### ④ 一時生活支援事業の実施

事業報告		評 価
ア 支援者数	11名(11件)【5名(4件)】	住居喪失者にホテル等で宿泊、食事の支援を行いながら、就職やその他解決策につなげることができた。
イ 利用期間		
1泊2日	9名【3名】	
2泊3日	2名【0名】	
3泊4日	0名【1名】	
7泊8日	0名【1名】	

⑤ 家計改善支援事業の実施

事業報告		評 価
ア 支援者数	14名【0名】	借金などの理由で、収支のバランスが崩れ、家計管理に問題が出るなど、生活に困窮してしまった相談者について、収支の状況を見直すなど、状況変化に応じながら支援を実施した。
イ 弁護士相談実績	3件【1件】	

⑥ 就労訓練事業の推進

事業報告		評 価
近郊の認定就労訓練事業所と連携し、就労のきっかけをつかめるよう支援することにより、直ちに一般就労が困難な人に対して、就労の機会を提供するように努めた。		認定就労訓練の登録事業所を増やしていく必要があるが、登録の難しさなどの理由で登録までつながらないケースが多かった。

⑦ 住宅確保の推進

事業報告		評 価
市内の不動産会社や生活困窮者支援を実施しているNPO法人、寮がある企業などと連携し、入居困難者の住居確保に取り組んだ。 また、山口県居住支援協議会が実施する意見交換会に参加し、これからの居住支援について検討した。		関係機関や団体と連携することにより、入居困難者に住居を確保することができた。

⑧ 関係機関との連携

事業報告		評 価
ア 自立相談支援事業支援調整会議の開催 毎月第4木曜日 防府市文化福祉会館 参加人員 10名	市、ハローワーク、県社協、市社協、自立相談支援センターが出席して、自立相談支援センターの状況報告、相談者の推移、相談者の支援概況等を情報共有し協議することができた。	
イ 防府地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会 令和5年 5月30日 ハローワーク 参加人員 2名		
ウ 引きこもりネットワーク会議 令和6年 3月 8日 山口健康福祉センター 参加人員 1名		

⑨ 相談体制の構築

事業報告	評 価
<p>令和5年 6月 6日・8日 誰でもスマホサービス研修会 Web 参加人員 4名</p> <p>令和5年 7月28日 山口県居住支援協議会セミナー Web 参加人員 1名</p> <p>令和5年 9月 1日 フードバンク山口物流事業説明会 Web 参加人員 2名</p> <p>令和5年 9月28日、10月13日・19日・25日 居住支援研修会 Web 参加人員 1名</p> <p>令和5年10月16日・17日 家計改善支援事業従事者養成研修 Web 参加人員 2名</p> <p>令和5年11月14日、令和6年 1月 9日 居住支援協議会意見交換会 防府市文化福祉会館 参加人員 2名</p> <p>令和5年11月17日 厚生労働省伴走支援事業 社会福祉協議会座談会 Web 参加人員 1名</p> <p>令和5年11月27日 依存症支援者研修 Web 参加人員 2名</p> <p>令和6年 1月16日 令和5年度ひきこもり支援研修 Web 参加人員 3名</p> <p>令和6年 2月16日 生活困窮者自立支援事業従事者意見交換会 Web 参加人員 2名</p> <p>令和6年 3月22日 今こそ求められる緊急一時支援受入れ Web 参加人員 1名</p>	<p>会議等に参加することにより、関係機関とのネットワークを構築することができた。また、リモート会議やオンデマンド研修が定着し、参加しやすい環境が整ってきた。</p>

(2) 生活困窮者に対する支援

防府市自立相談支援センターへの相談者に市からの委託以外の支援を実施した。

① 無料職業紹介事業の推進

事業報告	評 価																	
<p>防府市自立相談支援センターとして職業紹介事業を行った。</p> <p>就職実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>求人数</th> <th>求職数</th> <th>紹介数</th> <th>就職者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">軽作業 雑 役</td> <td>男</td> <td>1【3】</td> <td>1【3】</td> <td>1【3】</td> <td>1【3】</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> </tr> </tbody> </table>	種別	区分	求人数	求職数	紹介数	就職者数	軽作業 雑 役	男	1【3】	1【3】	1【3】	1【3】	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	<p>コロナ禍においてイベント等も少ないこともあり、短期の求人はなかった。また、求人登録までに至らないケースが多くあった。</p>
種別	区分	求人数	求職数	紹介数	就職者数													
軽作業 雑 役	男	1【3】	1【3】	1【3】	1【3】													
	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】													

② 食糧支援の体制づくり（フードバンク）

事業報告	評 価
<p>食糧支援活動について、広報紙「社協だより防府」で広報して周知を図った。アルク防府店設置のフードバンクポストを軸に、生活困窮者へ食糧の提供をした。不足する場合は、フードバンクほうふステーションやフードバンク山口と連携を図り補充を実施した。また、公益社団法人日本非常食推進機構のサイトを通じて各団体から提供される備蓄食料の提供を受けている。</p>	<p>市民の方からも多くの食品寄贈を受けた。市民の関心度が高いことがうかがわれた。</p>

4 高齢者能力開発情報センター事業

0 円

高齢者の能力の開発や向上を図るため、各種相談に応じるとともにその能力に応じた就労斡旋の機会の確保及び高齢者の生きがい対策に資するために実施した。

(1) 就労斡旋事業及び福祉情報等サービス事業の推進

事業報告	評 価
<p>求人の開拓、事業の啓発及び高齢者に関する情報等を広報紙「社協だより防府」に掲載して啓発した。</p>	<p>求職の問合せはあるが求人の問合せはなかった。</p>

(2) 高齢者無料職業紹介所事業の推進

事業報告	評 価																	
<p>65歳以上の高齢者への求職申し込みに対して、就労の場を提供した。</p> <p>① 高齢者求人求職相談の受付            ア 開設日数 243日【243日】            イ 相談件数 3件【4件】</p> <p>② 求職登録者の年齢及び男女別数            新規の求職登録者はなかった。</p> <p>③ 就職実績</p> <table border="1" data-bbox="220 1668 1094 1809"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>求人数</th> <th>求職数</th> <th>紹介数</th> <th>就職者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">軽作業 雑役</td> <td>男</td> <td>11【12】</td> <td>11【12】</td> <td>11【12】</td> <td>4【12】</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> </tr> </tbody> </table>	種別	区分	求人数	求職数	紹介数	就職者数	軽作業 雑役	男	11【12】	11【12】	11【12】	4【12】	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	<p>例年のイベント等が再開されたことで、短期の求人があった。</p> <p>常勤の求人がないことから求職者数も少なかった。</p>
種別	区分	求人数	求職数	紹介数	就職者数													
軽作業 雑役	男	11【12】	11【12】	11【12】	4【12】													
	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】													

## 5 資金貸付事業

190,000 円

資金の貸し付けを通して経済的な自立を図ることによって、住民の地域での安定した生活ができるよう支援した。

### (1) 小口福祉資金の貸付

事業報告	評 価
<p>低所得世帯が様々な事情により不時の出費が必要となった場合に貸付を行った。</p> <p>① 相談件数 138件【92件】</p> <p>② 貸 付 件 数 7件【18件】 金 額 190,000円【365,000円】</p> <p>③ 償 還 件 数 35件【44件】 金 額 252,500円【412,700円】</p>	<p>貸付により、一時的な出費に対応でき、民生委員につなげることにより見守り体制ができた。</p>

### (2) 生活安定対策資金の貸付

事業報告	評 価
<p>貸付はなかった。</p>	

## 【共同募金事業】

15,345,741 円

### 1 一般共同募金配分金事業

山口県共同募金会からの配分金により、高齢者、障害者・児、児童・青少年福祉及び福祉育成・援助活動等に対し、次の事業を実施した。

#### (1) 老人福祉活動事業の推進

事業報告	評 価
<p>① 敬老会等助成事業</p> <p>ア 地区社会福祉協議会主催による記念行事等へ助成</p> <p>地区においては新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことで、敬老会（式典等）を再開する地区が増えてきた。しかし、敬老会を中止している地区では、各地区福祉関係者（民生委員・児童委員、福祉員、友愛訪問グループ員、自治会役員、老人クラブ等）により、商品券や記念品を対象者宅</p>	<p>敬老会行事等を開催した地区社協や社会福祉施設に助成した。75歳以上の方へお祝いの気持ちを伝えると同時に、社会参加や交流の機会にもなっている。実情に応じた敬老会等の運営</p>



<p>に届けるため助成した。</p> <p>イ 社会福祉施設主催による記念行事等へ助成 市内の高齢者施設で実施される敬老会等行事に対して地区社会福祉協議会を通じて助成した。</p> <p>② 防府市老人クラブ連合会の支援 防府市老人クラブ連合会に活動費を助成し活動を支援した。</p>	<p>について支援した。</p>
--	------------------

(2) 障害者・児福祉活動事業の推進

事業報告	評 価
<p>① 新規障害者手帳取得者及び新規療育手帳A取得者の支援 65歳未満の身体障害者手帳1級取得者及び療育手帳A取得者の新規取得時に支援金を支給し支援した。 対象者数 24名【30名】</p> <p>② 障害者福祉団体等の支援 市障害福祉団体連合会、自閉症児・者親の会に活動費を助成して活動を支援した。</p> <p>③ 障害者スポーツ振興事業の支援 第24回防府車椅子・FIDバスケットボール大会（令和5年11月26日）の開催にあたり助成して大会を支援した。</p> <p>④ 障害児童・生徒への卒業記念品贈呈 令和6年 2月20日 卒業記念品贈呈式 市役所1号館3階 小学校卒業生（目覚時計） 60名【36名】 中学校卒業生（腕時計） 45名【33名】</p>	<p>障害がある児童・生徒の卒業を祝い、卒業記念品を贈呈して門出を祝福した。</p>

(3) 児童・青少年福祉活動事業の推進

事業報告	評 価
<p>① 新生児の支援 赤ちゃん文庫として本年度誕生した赤ちゃん全員に対し、母子保健推進員の協力を得て生後3か月児の家庭訪問に際して、絵本を1冊ずつ贈呈した。 人 数 769名【764名】</p>	<p>子育て家庭を応援する地域づくりを進め、子育ての孤立や育児不安の抱え込みの防止につながるよう努めた。問題の早期発見・早期対応のための関係機関との連携にも努めた。</p>

<p>② 児童及び青少年福祉団体の支援 防府市子ども会育成連絡協議会、防府市里親会、「社会を明るくする運動」「青少年の非行・被害防止運動」防府地区推進委員会、防府スカウト協議会に活動費を助成して活動を支援した。</p> <p>③ 海水浴場へ救急薬品贈呈 令和5年 7月 5日 2か所（富海海水浴場、野島海水浴場）</p> <p>④ 小学校新入学児童のお祝品贈呈 小学校の令和6年度に入学する新入学児童全員に対し、連絡帳入りクリアケースを贈呈した。 贈呈数 1, 100セット【1, 070セット】</p> <p><b>新</b>⑤ 赤い羽根共同募金のイラスト募金箱コンテスト 市内12か所に設置する募金箱のイラストを募集し、審査のうえ、優秀賞入賞作品が決定した。 応募総数 57作品</p>	<p>連絡帳等を活用して児童、学校及び家庭とのつながりを強化できた。小学校から感謝の声があった。</p> <p>地域参加型の共同募金活動を促進することができ、共同募金の啓発につながった。</p>
---	---

(4) 福祉育成・援助活動事業の推進

事業報告	評価
<p>① 被災世帯の支援 火事見舞い 5件（全焼2件、半焼3件） 【2件（全焼1件、半焼1件）】</p> <p>② 生活困窮者支援事業 緊急に必要な資金を支給 12件（42, 190円） 【4件（29, 720円）】</p> <p>③ 団体活動の支援 ア 防府市保育協会へ福祉教育のための助成 イ 地域自治会連合会へ自治会福祉部活動推進のための助成 ウ 地区民生委員児童委員協議会研修のための助成 令和5年 4月 7日 富海地区民生委員児童委員協議会 富海憩いの家 参加人員 19名【一名】 令和5年 4月13日 大道地区民生委員児童委員協議会</p>	<p>被災世帯にとって生活再建への一助となるとともに生活不安の軽減につながった。</p> <p>早急にライフラインの復旧が必要な生活困窮者への対応ができ、就労に向けての一時的な支援につながった。</p> <p>地区民児協の研修を支援し、民生・児童委員の資質向上を図った。研修内容について地区民児協の相談に応じた。</p>

<p>博愛会・和同会の全施設 参加人員 14名【15名】 令和5年 5月 9日</p>	<p>牟礼地区民生委員児童委員協議会</p>
<p>牟礼公民館 参加人員 29名【27名】 令和5年5月11日、7月13日、9月14日、12月14日</p>	<p>中関地区民生委員児童委員協議会</p>
<p>中関公民館 参加人員 22名【22名】 令和5年 7月10日</p>	<p>華浦地区民生委員児童委員協議会</p>
<p>華浦公民館 参加人員 17名【54名】 令和5年 8月10日</p>	<p>佐波地区民生委員児童委員協議会</p>
<p>佐波公民館 参加人員 18名【14名】 令和5年11月17日</p>	<p>華城地区民生委員児童委員協議会</p>
<p>福岡県 参加人員 12名【12名】 令和5年11月24日</p>	<p>西浦地区民生委員児童委員協議会</p>
<p>防府あかり園 参加人員 11名【一名】 令和5年11月25日</p>	<p>小野地区民生委員児童委員協議会</p>
<p>小野公民館 参加人員 52名【38名】 令和5年12月8日・9日</p>	<p>松崎地区民生委員児童委員協議会</p>
<p>長崎県 参加人員 7名【10名】 令和6年 1月14日</p>	<p>新田地区民生委員児童委員協議会</p>
<p>新田公民館 参加人員 18名【16名】 令和6年 1月17日</p>	<p>勝間地区民生委員児童委員協議会</p>
<p>山口県大島防災センター 参加人員 35名【一名】 令和6年 2月21日</p>	<p>右田地区民生委員児童委員協議会</p>
<p>右田公民館 参加人員 21名【25名】 令和6年 3月12日</p>	<p>向島地区民生委員児童委員協議会</p>
<p>向島公民館 参加人員 7名【7名】</p>	
<p>④ 広報活動の拡充 市社協だより及びホームページにより各事業についてわかりやすく掲載し周知を行った。</p>	

<p>⑤ 市民手話講習会の開催</p> <p>手話の入門編として、市民手話講習会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昼の部 令和6年 1月31日～ 3月 6日 (6回) 防府市文化福祉会館 参加延人員 63名【45名】</li> <li>・夜の部 令和6年 1月31日～ 3月 6日 (6回) 防府市文化福祉会館 参加延人員 81名【61名】</li> </ul> <p>⑥ 防府市障害者福祉啓発セミナーの開催</p> <p>令和5年12月 7日 防府市文化福祉会館 参加人員 67名【41名】</p> <p>[内容]</p> <p>演題 「あいサポーター研修 ～誰もが暮らしやすい社会を目指して～、～広げよう！あいサポート運動～」</p> <p>講師 特定非営利活動法人 青空 所長 山田正寛 氏</p>	<p>受講者が聴覚障害者とのふれあいの中から手話を学び、聴覚障害についての理解やボランティアの意義について共に考える場づくりとなった。講習会后、ボランティアグループや奉仕員養成講座へ進めた。</p> <p>障害への理解を促進するとともに「地域で一緒に暮らすために」の一助となり、誰もが地域で普通の生活を営むには、地域でどのように取り組んでいったらよいかを考える機会となった。</p>
--	---

(5) ボランティア活動育成事業の推進

事業報告	評価
<p>① ボランティア団体の活動助成</p> <p>防府ボランティア連絡会に活動費を助成して活動を支援した。</p> <p>② ボランティア体験月間の啓発活動</p> <p>ア 夏休み親子福祉体験教室～バリアフリー教室車いすで電車に乗ってみよう！？～ 令和5年 8月 9日 参加人員 一名</p> <p>市内小学4～6年生を対象に駅構内や電車内において車いす体験をすることにより、障害のある方への配慮やちょっとした手助けの方法を知るために福祉体験教室を開催する予定であった。</p> <p>イ ワークキャンプ（社会福祉施設ボランティア体験）の開催 令和5年 8月 3日～ 4日 障害児入所施設はなのうら 参加人員 2名</p>	<p>前年度に引き続き個々の団体の活動支援をした。</p> <p>台風6号の接近に伴い、中止とした。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたが、油断できない状況下において1施設で協力があり、実施できた。</p>

## 2 歳末たすけあい配分金事業

「みんなでささえあうあたたかい地域づくり」をスローガンに、12月1日から31日までの1か月間実施される歳末たすけあい運動における募金を山口県共同募金会から配分金を受けて、次の事業を実施した。

### (1) 生活困難世帯の支援

事業報告	評価
<p>生活困難世帯（生活保護世帯を除く）に対して、義援金を配付した。</p> <p>在宅の生活困難世帯 96世帯【99世帯】</p>	<p>民生・児童委員の協力を得て調査や配付を行うことができ、見守り活動や実態把握の一助となった。</p>

### (2) 児童養護施設の支援

事業報告	評価
<p>児童福祉施設入所児と退所する児童に対して、義援金を配付した。</p> <p>① 市内社会福祉施設入所児童 61名【57名】</p> <p>② 児童養護施設退所児への支援 4名【5名】</p>	<p>児童養護施設入所児、退所児へ義援金を贈ることで地域の支え合いの気持ちが届けられた。</p>

### (3) ふれあい・いきいきサロン活動の支援

事業報告	評価
<p>年末年始にクリスマス会、忘年会及び新年会を兼ねて開催されるふれあい・いきいきサロンに対し、義援金（市内共通商品券）を配付した。</p> <p>ふれあい・いきいきサロン活動への支援 91か所【71か所】</p>	<p>サロン活動の再開・新設など活発化してきていることがうかがえた。</p>

### (4) 地域福祉活動の支援

事業報告	評価
<p>歳末の時期に在宅ひとり暮らし高齢者等に対し、地区の特性を生かした事業を展開してもらえよう地区社会福祉協議会の事業活動に配分した。各地区の民生委員・福祉委員・友愛訪問員より対象者へ福祉弁当やカイロ、カレンダー、みかんなどを配った。</p>	<p>地区社協が実施する歳末たすけあい運動を支援し、地域の見守りや支え合いの活動を促進した。</p>

① 域福祉活動への支援 14地区社会福祉協議会 【15地区社会福祉協議会】	
② 対象者 8,403名【7,912名】	

**新** (5) ひとり親世帯の受験生支援

事業報告	評価
<p>大学、専門学校等の受験生を持つひとり親世帯の方へ、入学検定料の補助を行った。</p> <p>申請者 18名</p>	<p>物価高騰など出費のかさむ時期に受験生を持つひとり親世帯への支援につながった。</p>

**【団体事務受託業務】**

1 防府市民生委員・児童委員協議会事務局の業務

事業報告	評価
<p>(1) 防府市民生委員児童委員協議会の活動支援</p> <p>防府市民生委員児童委員協議会の事務局を受託し、活動を支援した。</p> <p>① 定例理事会の開催 偶数月の第1水曜日</p> <p>② 部会等の開催 部会（高齢者、障害者、児童福祉部会）の研修会、情報交換会等の支援をした。</p> <p>高齢者福祉部会研修会 令和5年10月20日 「うそ電話詐欺にあわないために」 参加人員 73名</p> <p>障害者福祉部会研修会 令和5年 8月23日 「障害児・障害者の福祉について」 参加人員 69名</p> <p>児童福祉部会研修会 令和5年 6月20日 「防府市にある児童家庭支援センターの取組みや地域との関わりについて」 参加人員 54名</p>	<p>事務局として定例理事会の運営や各部会活動を支援し、市民児協全体の活動を促進した。</p> <p>市担当課と協力して民生・児童委員の各種研修会参加を支援し、資質の向上に寄与した。</p>

<p>(2) 防府市民生委員児童委員新任研修会の開催 令和6年 1月19日 防府市 参加人員 8名</p>	<p>市担当課と協力して民生・児童委員の各種研修会参加を支援し、資質の向上に寄与した。</p>	
<p>(3) 研修会等へ職員引率等 令和5年 7月18日 現任民生委員・児童委員研修会 山口市 参加人員 35名</p>		
<p>令和5年 7月22日 ヤングケアラーに関する講演会 防府市 参加人員 29名</p>		
<p>令和5年 9月28日 中堅民生委員・児童委員研修会 山口市 参加人員 32名</p>		
<p>令和5年10月25日 市町地区民生委員児童委員協議会会長・副会長研修会 山口市 参加人員 31名</p>		
<p>令和5年12月19日 民生委員・児童委員活動実践講座 山口市 参加人員 2名</p>		
<p>令和6年 3月19日 児童委員・主任児童委員研修会 防府市 参加人員 37名</p>		
<p>(4) 視察研修受け入れ 令和5年11月14日 広島県安芸太田町民児協 参加人員 18名</p>		<p>県外民児協と情報交換を行い、市民児協活動の促進について支援した。</p>

2 山口県共同募金会防府市共同募金委員会事務局の業務

事業報告	評価
<p>(1) 防府市共同募金委員会の開催 ① 運営委員会 令和5年 4月26日 ・審査委員会の報告について ・運営委員の選任について ・令和4年度収支決算について ・監査報告 ・令和5年度事務費収支予算(案)について 令和5年 9月27日 ・運営委員の選任について ・監事の選任について ・会長及び副会長の選任について ・審査委員の選任について ・令和5年度共同募金による令和6年度配分の助成事業について ・令和5年度共同募金運動及び歳末たすけあい運動の実施について</p>	<p>地域の支援者と協力しながら募金活動を推進した。 審査委員会による助成審査を行い、透明性の確保に努めた。</p>

② 審査委員会

令和5年 7月11日

- ・令和6年度共同募金地域福祉活動助成（B配分）審査について
- ・令和6年度地域歳末たすけあい募金助成（C配分）審査について

令和6年 2月26日

- ・令和5年度赤い羽根共同募金運動及び歳末たすけあい運動の結果報告について
- ・令和6年度共同募金地域福祉活動助成最終審査について

(2) 監査会の開催

令和5年 4月12日

- ・令和4年度事業及び会計監査

(3) 共同募金活動の推進

- ① 各種募金活動の推進
- ② 各地区共同募金委員会活動の支援
- ③ 募金の集計及び管理

(4) 災害見舞金（義援金）の受付

- ・令和4年8月新潟県大雨災害義援金
- ・令和4年8月3日からの大雨災害による義援金
- ・和歌山県令和5年台風2号災害義援金
- ・令和5年台風第2号等大雨災害埼玉県義援金
- ・令和5年台風2号災害義援金
- ・2023年台風第2号による大雨災害義援金（茨城県）
- ・令和5年台風第2号災害静岡県義援金
- ・令和5年5月能登地方地震災害義援金
- ・令和5年台風13号災害義援金
- ・令和5年福島県台風第13号災害義援金
- ・令和5年台風第13号の接近に伴う大雨千葉県災害義援金
- ・茨城県2023年台風第13号に係る災害義援金
- ・沖縄県令和5年台風第6号災害義援金
- ・秋田県大雨災害義援金
- ・山口県令和5年6月30日からの大雨災害義援金
- ・福岡県令和5年7月豪雨災害義援金
- ・令和5年6・7月大雨災害義援金
- ・令和5年7月大雨災害義援金（石川県）
- ・令和5年7月九州北部豪雨災害佐賀県義援金



